

高精度高さ測定機リニヤハイト LH-600F/FG 用 検査成績書作成・システム設定 編集ソフトウェア

LH Communication-Tool V1.0



ユーザーズマニュアル — 取扱説明書 —

ご使用前に本書をよくお読みのうえ、
正しくお使いください。お読みになった後は、
いつでも見られる所に必ず保管してください。

No. 99MBH048J
2023年6月1日 発行 (1)



■ 本書の対象商品名および型番

商品名	型番
高精度高さ測定機リヤハイト LH-600F/FG 用 検査成績書作成・システム設定編集ソフトウェア	LH Communication-Tool V1.0

■ 本書に関するお願いとご注意

- 本書に記載の使用法に依らない使用により損害が発生した場合には、弊社は一切その責任を負いかねます。
- 本ソフトウェアの操作の前に本書をよく読んでください。特に、「取り扱い上のご注意」(6 ページ)の内容を十分に理解してから本ソフトウェアをお使いください。
- 本書の内容は 2022 年 11 月現在の情報に基づいています。
- 本書の内容の一部または全部を転載・複製することは固くお断りいたします。
- 本書に掲載している画面図は、説明の都合上、強調や簡略化、または一部を省略していることがあります。また、機能理解と操作に支障を与えない範囲内で、実際の画面表示と異なることがあります。
- 本文中の会社名、団体名、商品名等は、各社、各団体の商標、または登録商標です。

©2022 Mitutoyo Corporation. All rights reserved.

目次

ソフトウェア使用許諾契約書	1
本書について	3
本書で使用されている表記	5
取り扱い上のご注意	6
サードパーティのライセンス	6
1 概要	7
2 画面の説明	9
3 セットアップ	19
3.1 インストール.....	20
3.2 接続と起動.....	21
3.3 終了.....	25
4 検査成績書	27
4.1 作成、印刷／保存までの流れ.....	28
4.2 作成.....	29
4.2.1 測定結果データを読み込む	29
4.2.2 表示項目を選択する	34
4.2.3 レイアウトを編集する	39
4.3 印刷／保存.....	49
5 パラメータの編集、反映、保存	51
5.1 システム設定.....	52
5.2 公差設定.....	58
6 トラブルシューティング	63
6.1 トラブルシューティング.....	64
6.2 エラーメッセージ.....	65
索引	Index-1
営業・サービスの窓口	App-1

ソフトウェア使用許諾契約書

ご使用前に必ずお読みください。

ソフトウェア製品のご使用にあたりましては、下記のソフトウェア使用許諾契約書に対するお客様の同意が前提条件となります。ご使用前に下記契約書の内容を必ずお読みください。

「同意する」ボタンをクリックすること、本ソフトウェア製品をダウンロードすること、本ソフトウェア製品をインストールすること、又は本ソフトウェア製品に含まれるものを利用した場合、お客様は、本契約の規定に拘束される（規定を順守する）ことに同意したものとみなされます。

お客様が、本契約の一部にでも同意しない場合には、「同意する」ボタンをクリックしたり、本ソフトウェア製品をダウンロード、インストール又は使用しないでください。

株式会社ミットヨ（以下、「ミットヨ」と言います。）は、本契約書と共に提供するソフトウェア、プログラムディスク、およびマニュアル（以下、「本ソフトウェア製品」と言います。）を使用する非譲渡性の非独占的権利を下記条項に基づいてお客様に許諾します。

1. 使用权

お客様が本契約書の全ての条項に同意した場合にのみ、お客様は、本ソフトウェア製品を使用する使用权を許諾されます。

お客様が、本ソフトウェア製品を使用し、またはインストールした場合には、本契約書に同意したものとみなされます。

お客様は、本契約書に基づき許諾された本ソフトウェア製品を1台のコンピュータシステムでのみ使用することができます。他のコンピュータシステムで本ソフトウェア製品を使用するときは、別途使用权を取得することが必要です。

お客様が本契約書の条項および条件に違反した場合、ミットヨは、直ちにお客様の使用权を取り消すことができます。そのような場合、お客様は一切本ソフトウェア製品を使用しないものとし、本ソフトウェア製品の全ての構成部分をミットヨに返却しなければなりません。

本ソフトウェア製品は、使用を許諾されるものであり、販売されるものではありません。

お客様は本契約書に規定されている事項を除いて、本ソフトウェア製品に関していかなる権利も取得しません。

2. 複製等の禁止

お客様は、本契約書において許諾された範囲を越えて、本ソフトウェア製品を複製することはできません。

お客様は、ミットヨの書面による事前の同意を得なければ、本契約書、本契約書による使用权、本契約書の適用される本ソフトウェア製品またはその他の品目を譲渡したり、第三者に再使用权を許諾したりまたは移転したりすることはできません。

お客様は、マニュアルに記載されている場合を除き、本ソフトウェア製品の全体または一部を印刷、複製、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、あるいは逆アセンブルまたは改変することはできません。

3. 保証範囲

本ソフトウェア製品の重要な機能に致命的な影響があるとミットヨが判断した不具合が発見された場合は、ミットヨは、ミットヨの判断により本ソフトウェア製品の修正版をミットヨのホームページ上で提供します。

この保証の下での、お客様に対する救済手段及びミットヨ、そのサプライヤー及び関連会社の責任は、ミットヨの単独の判断による、上記の対応のみに限定されます。

いかなる場合にも、ミットヨは、本ソフトウェア製品にエラーがないことを保証したり、お客様が何らの問題や障害なく本ソフトウェア製品を使用できることを保証するものではなく、また、本ソフトウェア製品が、第三者が提供するハードウェア又はソフトウェア製品と一緒に使用できることを保証するものではありません。

この保証は、本ソフトウェア製品又はそのコンポーネントやエレメント、もしくはかかる本ソフトウェア製品と一緒に使用することを意図された装置が、(a) 変更・修正された場合、(b) ミットヨが提供した指示に従ってインストール、使用、修理又は保守されなかった場合、(c) 異常な物理的又は電気的なストレス、不正使用、過失若しくは事故の場合、又は、(d) 非常に危険な活動において使用された場合には、適用されません。

本ソフトウェア製品がインストールされた機器又はハードウェアに関連してミットヨ又はその関連会社が提供するいかなる保証も、本契約に明示的に反対の規定がない限りは、本契約に規定する保証又はお客様の権利を拡大したり、修正をすることはできません。

この保証条項に規定される場合を除き、適用される法によって許される最大の範囲で、あらゆる性質の、すべての明示的・黙示的な条件、表明及び保証（商品性に関する保証、特定の目的への適合性の保証、非侵害の保証又は取引過程、使用又は取引実務から生じる保証を含みますが、これらに限定されません）は、排除されます。

お客様は、お客様が意図された結果を実現するために本ソフトウェア製品を選択したことによって生ずるすべての結果についての全責任を引き受けるものとします。

4. 免責

本ソフトウェア製品は、現状有姿のままお客様に提供されるものとします。

ミットヨは、本ソフトウェア製品に関して、商品性および特定の目的に対する適合性を含む本契約書に規定されていないその他の保証を、明示たると黙示たるとを問わず一切いたしません。

法律上の請求の原因の種類を問わず、いかなる場合においても、ミットヨは、本ソフトウェア製品の使用または使用不能から生ずる本契約書に規定されていないいかなる損害（事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失またはその他の金銭的損害を含むがこれらに限定されない）に関して、一切責任を負わないものとします。例えばミットヨがかかる損害の可能性について知らされていた場合でも同様です。

5. その他

- (1) お客様は、いかなる方法および目的によっても、日本国およびその他の関係国の輸出管理規制等に違反して、本ソフトウェア製品およびその複製物を輸出あるいは再輸出することはできません。
- (2) 本契約に関連または起因する紛争は、東京地方裁判所を専属的合意管轄裁判所として解決するものとします。

本書について

■ 本書の位置付け、ドキュメントマップ

本書の位置付けと他の分冊との関係などを説明します。

重要

事前に 別冊の「LH-600F/FG ユーザーズマニュアル」をお読みいただき、LH-600F/FG の操作方法を理解した上で、LH Communication-Tool（本書では「本ソフトウェア」と呼ぶ）を使用してください。

● ハードウェア関連

インストラクションマニュアル

LH-600F/FG の安全上の注意、概要、構成、仕様などを説明しています。

ハードウェアガイド

LH-600F/FG のハードウェア関連の仕様、セットアップ、保守、トラブルシューティングなどを説明しています。

● 各種操作方法やソフトウェア関連

ユーザーズマニュアル

LH-600F/FG の基礎知識、基本測定・応用測定、トラブルシューティングなどについて説明しています。

LH Communication-Tool
ユーザーズマニュアル（本書）

本ソフトウェアをインストールした PC に LH-600F/FG の測定データを取り込んで、検査成績書を作成する手順などを説明しています。

本ソフトウェアは、弊社ホームページからダウンロードしてください。

● セットアップ関連

セットアップマニュアル

LH-600F/FG の開梱、設置、プローブの取り付けなどを説明しています。

クイックマニュアル

LH-600F/FG の起動から簡単な測定までの手順を説明しています。

■ 本書の対象読者と目的

● 対象読者

LH-600F/FG を使用する方を対象にしています。

PC および Windows の基本的な操作をご理解いただいていることを前提とします。

また、図面を読んで指示を理解できることを前提とします。

● 目的

本書は、本ソフトウェアを使用して、LH-600F/FG の測定データから検査成績書を作成する方法や、LH-600F/FG のシステム設定や公差設定を PC で編集する方法などをご理解いただくことを目的としています。

本書で使用されている表記

■ 潜在的な危険性に対する注意喚起を示す表記

注記	取り扱いを誤った場合、「物的損害の発生が想定される」内容を示します。
-----------	------------------------------------

■ 参考情報や参照先を示す表記

重要	本ソフトウェアを使用する上で知っておかなければならない情報を示します。
Tips	本文で説明している操作方法や手順に関連する詳細情報および参考情報を示します。
	本書または外部の取扱説明書に、参照すべき情報がある場合は、参照先を示します。 例：○○の詳細は、  「1 概要」の「1.1 各部の名称」(5 ページ)を参照してください。

■ その他の表記

() (丸かっこ)	直前の内容の説明、補足説明を示します。
「 」 (かぎかっこ)	強調する語句を示します。また、参照文で参照先を示します。
[] (角かっこ)	画面に表示される項目 (メニュー、ダイアログ、ボタン、タブなど)、およびコントローラーやキーボードのキーを表します。また、お客様が意図的に入力/選択する項目を示します。
1 、 2 、 3 … 1、2、3…	作業の順番と、その内容を示します。 (1 : 親手順、1 : 子手順)
»	操作結果を示します。

取り扱い上のご注意

■ 本ソフトウェアの用途や取り扱いについて

- 本ソフトウェアは、LH-600F/FG に対してのみ使用してください。
LH-600F/FG 以外の測定機器には使用しないでください。
- 本ソフトウェアは、LH-600F/FG の検査成績書作成・システム設定編集用です。
上記以外の目的のために使用しないでください。

■ LH-600F/FG と接続しているときのご注意

重要

本ソフトウェアがインストールされた PC と LH-600F/FG を USB ケーブルで接続しているとき、LH-600F/FG の表示制御部からの操作はできません。

表示制御部から LH-600F/FG を操作する場合は、本書に記載されている手順で本ソフトウェアを終了するか、USB ケーブルを取り外してください。

本ソフトウェアの終了方法の詳細は、[目次](#)「3.3 終了」(25 ページ) を参照してください。

■ PC の電源を切るときのご注意

重要

PC の電源を切るときは、本書に記載されている終了手順に従ってください。

誤った操作をすると本ソフトウェアのデータや、接続している LH-600F/FG のデータが破損するおそれがあります。

■ 重要データのバックアップについてのご注意

重要

測定データやシステム設定データなど、重要なデータは定期的に記録メディアなどにバックアップしてください。

PC に保存されているデータは、さまざまな原因によって破損・消失することがあります。測定データやシステム設定データなどの破損・消失などについては、いかなる理由であっても、弊社はその責任を負いかねますのでご了承ください。

サードパーティのライセンス

ComponentOne

Copyright (c) 2004 GrapeCity inc.

1 概要

本ソフトウェアは、LH-600F/FG から取得したデータを使用して、検査成績書の作成や設定データの保存・編集・転送を行うソフトウェアです。

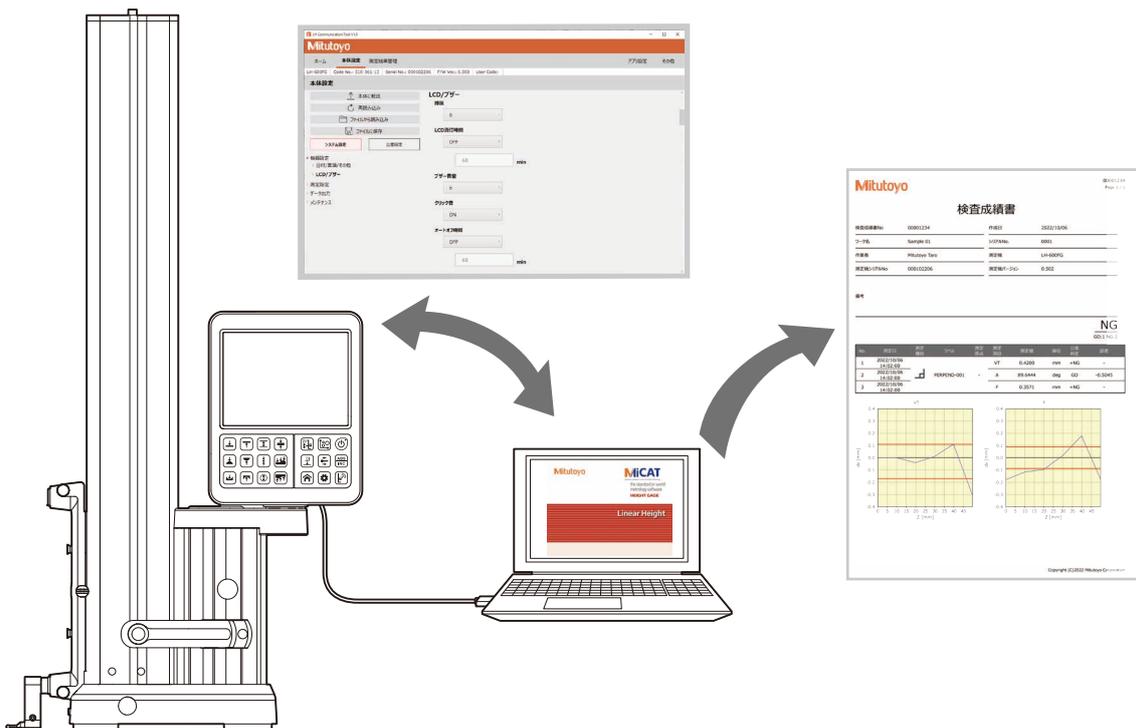
本ソフトウェアをインストールした PC と LH-600F/FG を USB ケーブルで接続し、本ソフトウェアを起動するだけで、LH-600F/FG と接続された状態になります。

なお、本ソフトウェアが扱うデータは下表をご覧ください。

データ	説明
測定結果データ	シンプル測定、アドバンス測定、2D 測定、パートプログラム測定の各測定結果データです。 測定原点、測定種別、測定項目、測定値、公差判定結果などが含まれます。
本体設定データ	
システム設定	測定機本体と表示制御部に関する設定項目、測定に関する設定項目、データ出力に関する設定項目、メンテナンス(校正)に関する設定項目が含まれます。
公差設定	公差判定ワーニングしきい値、および各測定項目に対する公差設定項目(設計値、上限公差、下限公差)が含まれます。

Tips

- LH-600F/FG と PC を接続するためには、以下の USB ケーブルが必要です。
USB ケーブル (A タイプ - B タイプ) : A タイプ (PC 側)、B タイプ (LH-600F/FG 側)
- 弊社オプションの USB ケーブル (パーツ No. 12BAF812) を購入する場合は、弊社営業・サービスの窓口 (☎「営業・サービスの窓口」(App-1 ページ)) にご連絡ください。



MEMO

2 画面の説明

本ソフトウェアは、機能ごとに6つの画面で構成されています。

1 [ホーム] 画面

本ソフトウェアを起動後、最初に表示される画面です。

[終了] や、ほかの画面へのショートカットボタンが配置されています。

☞「**■** [ホーム] 画面」(11 ページ)



① をクリックすると、[本体設定] 画面が表示されます。

② をクリックすると、[測定結果管理] 画面が表示されます。

③ をクリックすると、[アプリ設定] 画面が表示されます。

④ をクリックすると、[その他] 画面が表示されます。

2 [本体設定] 画面

LH-600F/FG のシステム設定と公差設定の内容が表示されます。

☞「**■** [本体設定] 画面」(12 ページ)

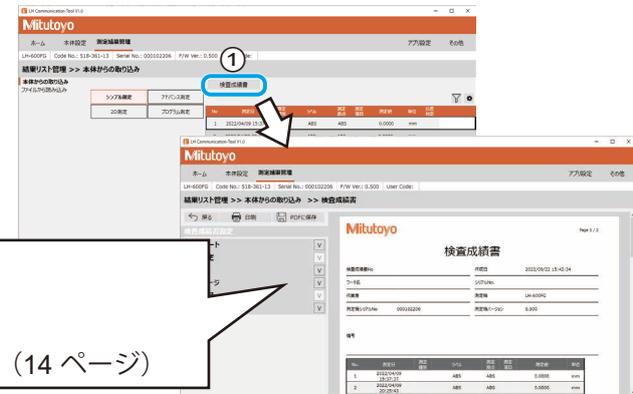


3 [測定結果管理] 画面

LH-600F/FG の測定結果データが表示されます。

① をクリックすると、[検査成績書] 画面が表示されます。

☞「**■** [測定結果管理] 画面」(13 ページ)



4 [検査成績書] 画面

検査成績書を作成します。

☞「**■** [検査成績書] 画面」(14 ページ)

5 [アプリ設定] 画面

本ソフトウェアの設定内容が表示されます。

☞「**■** [アプリ設定] 画面」(16 ページ)



6 [その他] 画面

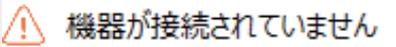
本ソフトウェアのバージョン情報などが表示されます。

☞「**■** [その他] 画面」(17 ページ)



■ 各画面共通の表示



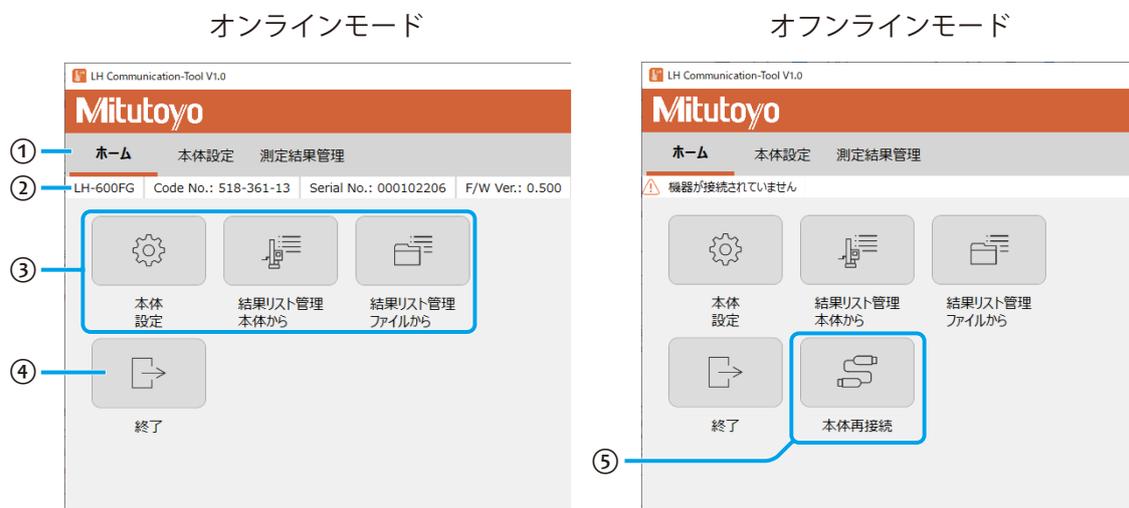
No.	名称	説明
①	ナビゲーションバー	<p>各機能へのリンク（メニュー）です。メニューをクリックすると、各機能の画面（[ホーム] 画面、[本体設定] 画面、[測定結果管理] 画面）が表示されます。</p> <p>Tips 選択中（表示中）のメニュー名には、以下のようにオレンジの下線が表示されます。</p> <div style="text-align: center;">  </div>
②	接続機器情報バー	<p>本ソフトウェアと LH-600F/FG が接続している場合（オンラインモードの場合）、以下の 5 つの情報が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 機種名（LH-600F または LH-600FG） コード No. シリアル No. F/W Ver. (*) ユーザーコード <p>* F/W（ソフトウェア）Ver.：LH-600F/FG に組み込まれたソフトウェアのバージョンです。</p> <p>Tips LH-600F/FG に接続していない場合（オフラインモードの場合）は、以下のメッセージが表示されます。</p> <div style="text-align: center;">  </div>

■ [ホーム] 画面

本ソフトウェアを起動後、最初に表示される画面です。

LH-600F/FG に接続している場合（オンラインモードの場合）は、左の画面が表示されます。

LH-600F/FG に接続していない場合（オフラインモードの場合）は、右の画面が表示されます。



No.	名称	説明
①	ナビゲーションバー	詳細は、目録「■ 各画面共通の表示」（10 ページ）を参照してください。
②	接続機器情報バー	
③	ショートカットボタン	以下の機能へのショートカットボタンです。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [本体設定]：LH-600F/FG のシステム設定を編集します。 ・ [結果リスト管理 本体から]：測定結果リストを LH-600F/FG から読み込みます。 ・ [結果リスト管理 ファイルから]：測定結果リストを PC に保存しているファイルから読み込みます。
④	[終了]	クリックすると、本ソフトウェアが終了します。
⑤	[本体再接続]	オフラインモードのときに表示されます。 USB ケーブルで LH-600F/FG と PC を接続したあと、[本体再接続] をクリックすると、オンラインモードになります。 オンラインモードになると、LH-600F/FG のデータが本ソフトウェアに読み込まれます。 <p>Tips USB ケーブルを接続後、本ソフトウェアを再起動してもオンラインモードになります。</p>

■ [本体設定] 画面

LH-600F/FG のシステム設定と公差設定の内容が表示されます。

編集したデータは LH-600F/FG に書き込み、または PC に保存できます。



No.	名称	説明	
①	ナビゲーションバー	詳細は、目録「■ 各画面共通の表示」(10 ページ) を参照してください。	
②	接続機器情報バー		
③	データ読み込み／書き込みボタン	[本体に転送] (オンラインモード時に表示)	本ソフトウェアで編集したデータを LH-600F/FG に書き込みます。
		[再読み込み] (オンラインモード時に表示)	LH-600F/FG のデータを再度読み込みます。
		[ファイルから読み込み]	システム設定と公差設定のデータを PC に保存したファイルから読み込みます。
		[ファイルに保存]	システム設定と公差設定のデータを PC に保存します。
④	データ選択ボタン	[システム設定] または [公差設定] を選択します。 選択した設定データが ⑥ のエリアに表示されます。	
⑤	データ一覧	④ で選択した [システム設定] または [公差設定] の大項目が表示されます。 項目先頭の ▾ をクリックすると、詳細項目がツリー形式で表示されます。	
⑥	データの設定内容表示エリア	⑤ で表示されているデータの設定内容が表示されます。	

■ [測定結果管理] 画面

LH-600F/FG の測定結果データが表示されます。

測定結果データの編集はできませんが、必要な項目を選択して、検査成績書に取り込めます。



No.	名称	説明
①	ナビゲーションバー	詳細は、☰「■ 各画面共通の表示」(10 ページ) を参照してください。
②	接続機器情報バー	
③	データ読み込みボタン	[本体からの取り込み] (オンラインモードの場合のみ) : 測定結果データを LH-600F/FG から読み込みます。
		[ファイルから読み込み] : 測定結果データを、LH-600F/FG に接続した USB メモリーから読み込みます。
④	データ選択ボタン	③ で [本体からの取り込み] を選択した場合 : [シンプル測定]、[アドバンス測定]、[2D 測定]、[プログラム測定] が表示されます。 選択した測定に応じた内容が ⑧ に表示されます。
		③ で [ファイルから読み込み] を選択した場合 : [ファイルから読み込み] をクリックして、PC に保存された任意のファイル (テキスト形式のファイル) を選択します。 選択した測定に応じた内容が ⑧ に表示されます。
⑤	データファイル 選択エリア	③ で [本体からの取り込み]、④ で [2D 測定] を選択した場合 : [結果選択] リスト (測定結果ファイルのリスト) が表示されます。
		③ で [本体からの取り込み]、④ で [プログラム測定] を選択した場合 : [プログラム選択] のドロップダウンリストと、[結果選択] リスト (測定結果ファイルのリスト) が表示されます。
		③ で [ファイルから読み込み] を選択した場合 : ③ で選択したファイルの [ファイル名]、[ファイルの場所]、[リストの種類] が表示されます。選択したファイルにより、[ラベル]、[メモ]、[結果選択] も表示されます。

2 画面の説明

No.	名称	説明
⑥	[検査成績書]	⑧に表示されている測定結果データを取り込んだ検査成績書を表示します。
⑦	フィルタ	 ボタン：⑧に表示する測定結果の種別を選択します。  ボタン：⑧に表示する測定結果の表示項目を選択します。
⑧	測定結果データ表示エリア	④と⑤で選択した測定結果データが表示されます。

■ [検査成績書] 画面

LH-600F/FG の測定結果データを取り込んだ検査成績書が表示されます。

[測定結果管理] 画面の [検査成績書] をクリックして表示します。

画面右側のプレビュー画面で編集結果を確認しながら、画面左側の設定ボタンでレイアウトを編集できます。

完成した検査成績書は印刷、または PDF ファイルで保存できます。



No.	名称	説明
①	ナビゲーションバー	詳細は、  「■ 各画面共通の表示」(10 ページ) を参照してください。
②	接続機器情報バー	
③	[PDF に保存]	検査成績書を PDF ファイルに変換して、PC に保存します。
④	[印刷]	検査成績書を PC に接続されたプリンターや、PC の仮想プリンターで印刷します。⑧の印刷媒体選択ボタンで印刷媒体を選択後、[印刷] をクリックしてください。
⑤	[戻る]	[測定結果管理] 画面に戻ります。
⑥	レイアウト編集エリア	検査成績書の印刷レイアウトや表示項目を表示 () / 非表示 () ボタンで編集します。 テンプレートを選択して、簡単にレイアウトすることもできます。 編集結果は ⑩ のプレビュー画面に反映されます。

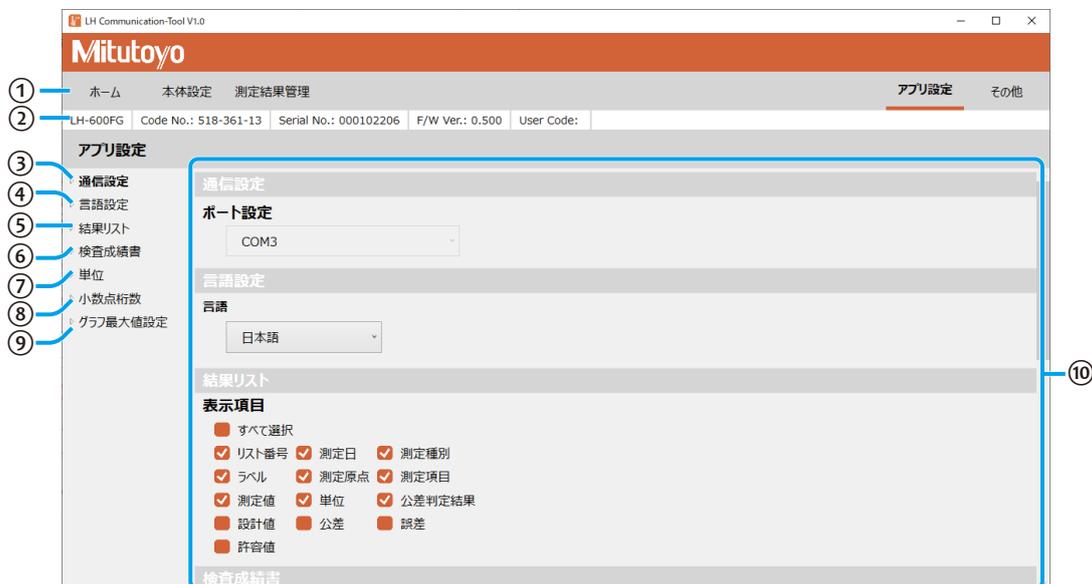
2 画面の説明

No.	名称	説明
⑦	表示倍率選択ボタン	プレビュー画面の表示倍率をドロップダウンリストから選択します。
⑧	印刷媒体選択ボタン	印刷媒体を選択できます。 印刷媒体を選択後、④の「印刷」をクリックすると、選択した印刷媒体から、検査成績書が印刷されます。 Tips 印刷媒体として、プリンター、OneNote、Microsoft XPS Document Writer、Adobe PDF などを選択できます。
⑨	表示ページ選択ボタン	プレビュー画面の表示ページを選択します。 Tips ページは、プレビュー画面の右側にあるスクロールバーをドラッグして切り替えることもできます。
⑩	プレビュー画面	⑥で編集した結果を表示します。

■ [アプリ設定] 画面

本ソフトウェアのポート番号、言語、単位などを設定します。

ナビゲーションバーの [アプリ設定] メニューをクリックして表示します。



No.	名称	説明
①	ナビゲーションバー	詳細は、 目録 「 ■ 各画面共通の表示 」(10 ページ)を参照してください。
②	接続機器情報バー	
③	[通信設定]	接続している PC のポート番号を表示します。 USB ケーブルが接続されていない場合は、何も表示されません。 詳細は、 目録 「 ■ ポート接続を確認する 」(24 ページ)
④	[言語設定]	アプリ上に表示される言語を設定します。 21 言語から選択できます。 初期値は「日本語」です。
⑤	[結果リスト]	測定結果リストの表示項目を設定します。 [測定結果管理] 画面で設定する表示項目 (ボタンで選択) と連動しています。
⑥	[検査成績書]	検査成績書に表示される言語を設定します。「アプリの設定と同じ」 または 21 言語から選択できます。 初期値は「アプリの設定と同じ」です。
⑦	[単位] *1	角度の単位を設定します。[deg]、[rad]、[DMS] (度分秒) から選択 できます。 初期値は [deg] です。 また、長さの単位も設定できます。*2 [in]、[mm] から選択できます。 初期値は、[mm] です。
⑧	[小数点桁数] *1	角度と長さの小数点以下の桁数を設定します。角度、長さ共に [0.0]、 [0.00]、[0.000]、[0.0000] から選択できます。 初期値は [0.0000] です。

2 画面の説明

No.	名称	説明
⑨	[グラフ最大値設定]	直角度 (VT) と真直度 (F) のグラフについて、縦軸の最大値を設定します。 初期値は [0.0000] です。
⑩	設定内容表示エリア	③～⑨ の設定内容の表示、編集エリアです。

*1：[単位] の設定は、[測定結果管理] 画面の [本体からの取り込み] 画面で表示される測定結果に対してのみ反映されます。

[ファイルから読み込み] 画面で表示される測定結果や、[本体設定] 画面の [システム設定] / [公差設定] の設定内容には反映されません。

*2：使用する Windows OS の言語設定と地域設定が日本または韓国の場合は、[長さ単位] は表示されません。

■ [その他] 画面

本ソフトウェアのバージョン情報と著作権情報を確認できます。

ナビゲーションバーの [その他] メニューをクリックして表示します。



No.	名称	説明
①	ナビゲーションバー	詳細は、目録「■ 各画面共通の表示」(10 ページ) を参照してください。
②	接続機器情報バー	
③	バージョン情報	本ソフトウェアのバージョンを表示します。
④	著作権情報	本ソフトウェアの著作権者を表示します。

MEMO

3 セットアップ

本ソフトウェアのインストールから、LH-600F/FG に接続するまでの方法を説明します。

3.1 インストール	20
3.2 接続と起動	21
3.3 終了	25

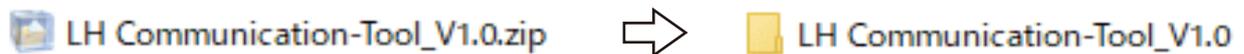
3.1 インストール

本ソフトウェアをインストールする方法を説明します。

本ソフトウェアをインストールする PC に必要な仕様は以下のとおりです。

オペレーティングシステム	Windows 10 (64 bit) Windows 11 (64 bit)
ディスプレイ	解像度 1,280 × 720 以上 (推奨)

- 1 管理者権限で PC にログインする
- 2 弊社ホームページから本ソフトウェアをダウンロードする
- 3 圧縮ファイル (zip 形式) を PC 上で解凍する

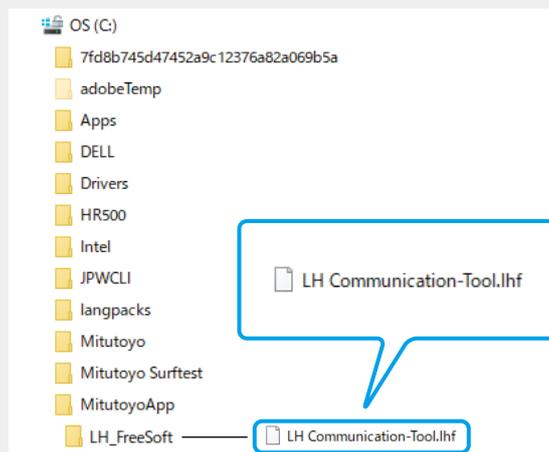


以上で本ソフトウェアのインストールは完了です。

Tips

既に本ソフトウェアを起動したことがある場合は、「LH_FreeSoft」フォルダー内に設定ファイル「LH Communication-Tool.lhf」が存在します。

手順 3 の終了後、設定ファイル「LH Communication-Tool.lhf」を削除してください。



3.2 接続と起動

本ソフトウェアのインストールが完了したら、PC と LH-600F/FG を接続します。その後、本ソフトウェアを起動すると、本ソフトウェアがオンラインモードで使用できる状態になります。

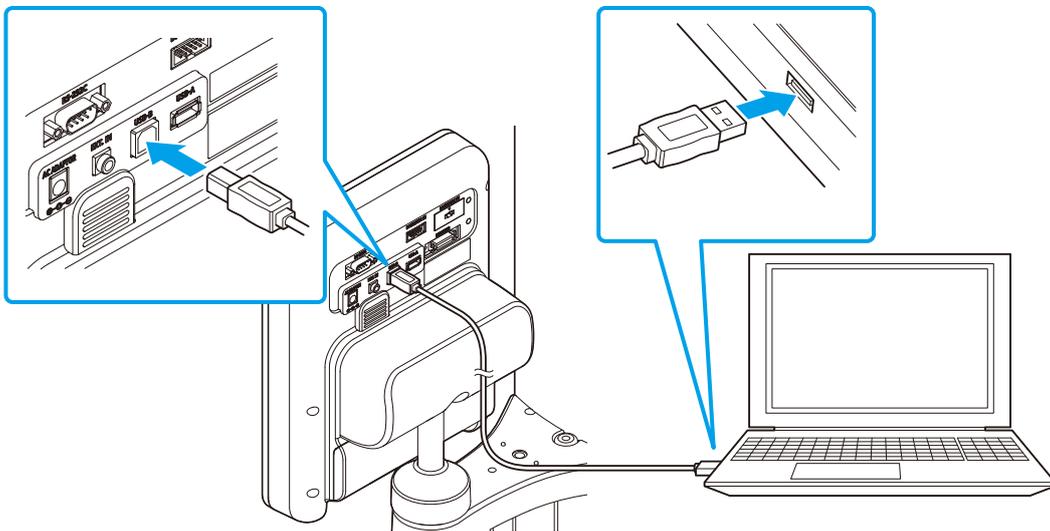
ここでは、LH-600F/FG との接続方法と、本ソフトウェアのオンラインモードでの起動方法を説明します。

1 PC と LH-600F/FG の電源を入れる

Tips

PC と LH-600F/FG の電源が入っている場合は、**2** に進んでください。

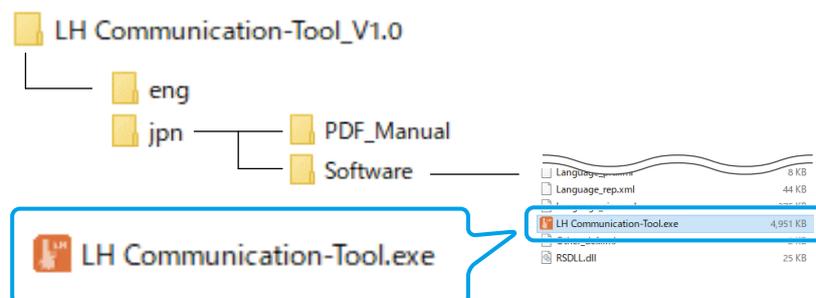
2 PC と LH-600F/FG を USB ケーブル (A - B タイプ) で接続する



3 LH-600F/FG の表示制御部の画面をホーム画面にする

4 本ソフトウェアを起動する

- 「LH Communication-Tool.exe」をダブルクリック（または右クリックメニューの「開く」をクリック）する
「LH Communication-Tool.exe」は、PC 上に解凍した「LH Communication-Tool_V1.0」フォルダー内にある各言語フォルダーの「Software」フォルダー内にあります。



Tips

「PDF_Manual」フォルダーには本マニュアルが PDF 形式で格納されています。

3 セットアップ

- » [ホーム] 画面が表示される。
- » [ホーム] 画面の接続機器情報バーに接続された LH-600F/FG の情報が表示される。(オンラインモード)



重要

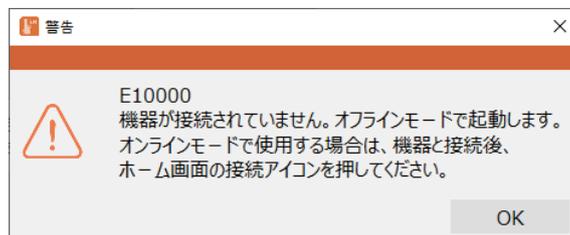
- オンラインモードにならなかった場合は、USB ケーブルが正しく接続されていない可能性があります。図 1 「■ ポート接続を確認する」(24 ページ) を参照し、USB ケーブルが正しく接続できているかを確認してください。
- 本ソフトウェアがインストールされた PC と LH-600F/FG を USB ケーブルで接続しているとき、LH-600F/FG の表示制御部のタッチパネルには以下の画面が表示されます。この間、LH-600F/FG の表示制御部からの操作はできません。
表示制御部から LH-600F/FG を操作する場合は、本ソフトウェアを終了するか、USB ケーブルを取り外してください。
本ソフトウェアの終了方法の詳細は、図 2 「3.3 終了」(25 ページ) を参照してください。



■ PC と LH-600F/FG を接続せずに本ソフトウェアを起動した場合

PC と LH-600F/FG を接続せずに本ソフトウェアを起動した場合は、以下のエラーメッセージが表示され、オフラインモードで起動します。

オフラインモードでは、PC または USB メモリーに保存されているファイルのみ使用できます。



オフラインモードからオンラインモードに切り替える場合は、PC と LH-600F/FG を USB ケーブルで接続したあと、[ホーム] 画面の [本体再接続] をクリックしてください。



■ ポート接続を確認する

PC と LH-600F/FG が正しく接続できているかを、以下の手順でご確認ください。

1 PC の画面の左下にある (Windows のスタートボタン) を右クリックする

» 右クリックメニューが表示される。

2 右クリックメニューの [デバイス マネージャー] をクリックする

» [デバイス マネージャー] が表示される。

3 [ポート (COM と LPT)] をクリックする



4 USB ケーブルを抜き差しして、表示/非表示になるポートがあることを確認する

(次の図の場合、「COM8」が LH-600F/FG と接続しているポートです。)

USB ケーブルを抜いたとき



USB ケーブルを差したとき



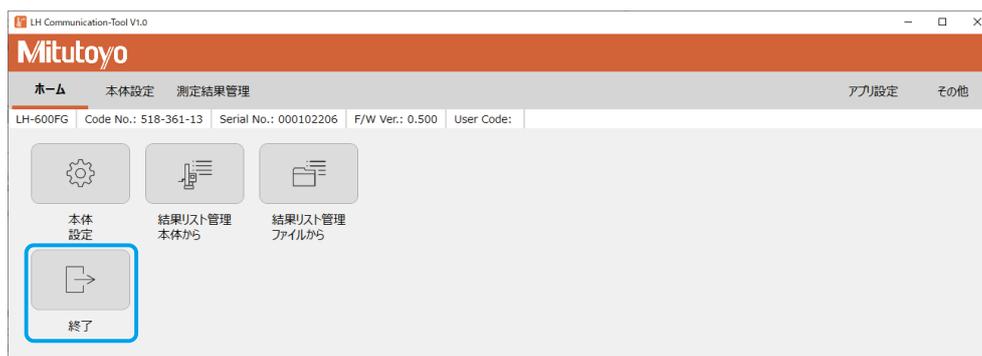
3.3 終了

本ソフトウェアの終了方法を説明します。

1 [ホーム] メニューをクリックする

» [ホーム] 画面が表示される。

2 [終了] をクリックする



» 本ソフトウェアが終了する。

MEMO

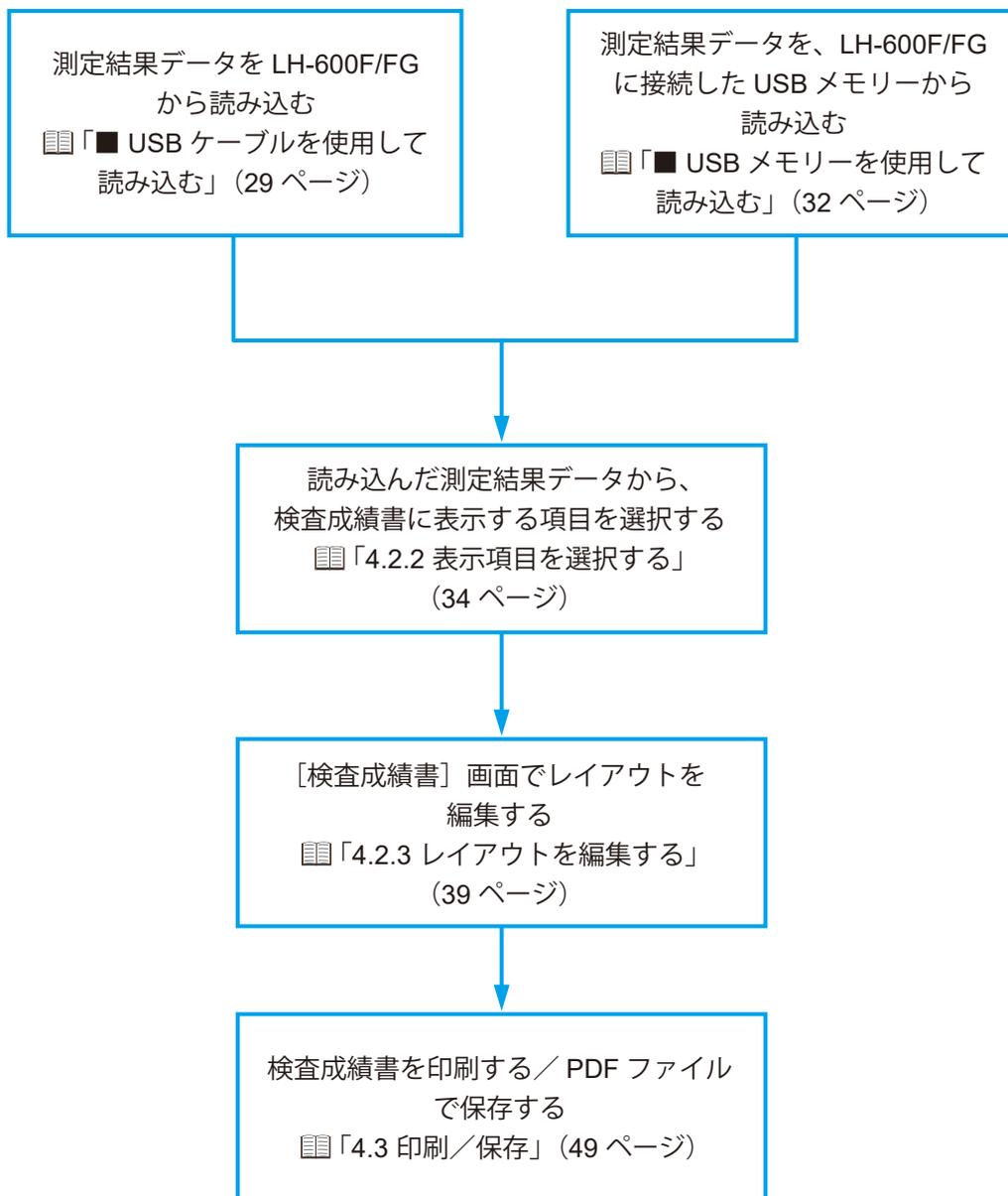
4 検査成績書

LH-600F/FG の測定結果データを使用して、検査成績書を作成、保存、印刷する方法を説明します。

4.1 作成、印刷／保存までの流れ	28
4.2 作成	29
4.3 印刷／保存	49

4.1 作成、印刷／保存までの流れ

検査成績書は以下の流れで作成、印刷または保存します。



4.2 作成

LH-600F/FG から測定結果データを読み込んで、検査成績書を作成します。

4.2.1 測定結果データを読み込む

LH-600F/FG の測定結果データは、以下の 2 つの方法で読み込めます。

- LH-600F/FG に接続した USB ケーブルを使用して、直接読み込む
- LH-600F/FG に接続した USB メモリーを使用して、間接的に読み込む

■ USB ケーブルを使用して読み込む

LH-600F/FG から測定結果データを読み込む場合は、PC と LH-600F/FG を USB ケーブル（A タイプ - B タイプ）で接続します。

重要

本ソフトウェアがインストールされた PC と LH-600F/FG を USB ケーブルで接続しているとき、LH-600F/FG の表示制御部からの操作はできません。

表示制御部から LH-600F/FG を操作する場合は、本書に記載されている手順で本ソフトウェアを終了するか、USB ケーブルを取り外してください。

本ソフトウェアの終了方法の詳細は、[目録「3.3 終了」](#)（25 ページ）を参照してください。

1 PC と LH-600F/FG を USB ケーブル（A - B タイプ）で接続し、本ソフトウェアを起動する

[目録「3.2 接続と起動」](#)（21 ページ）を参照してください。

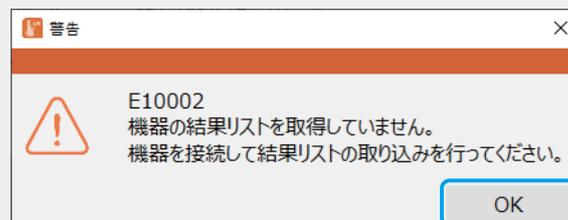
2 [測定結果管理] メニューをクリックする

» [測定結果管理] 画面が表示される。

重要

LH-600F/FG と一度も接続せず、測定結果リストが読み込まれていない状態で、[測定結果管理] メニューをクリックした場合、以下のエラーメッセージが表示されます。

エラーメッセージが表示された場合は、[OK] をクリックして、手順 **1** から操作してください。



3 [測定結果管理] 画面の [本体からの取り込み] をクリックする

» [本体からの取り込み] 画面が表示される。



Tips

- [ホーム] 画面の [測定リスト管理 本体から] をクリックしても、[測定結果管理] 画面の [本体からの取り込み] 画面が表示されます。
- [測定結果管理] 画面の詳細は、目録「■ [測定結果管理] 画面」(13 ページ) を参照してください。

4 測定の種類を選択する

シンプル測定の場合：[シンプル測定] をクリックします。



アドバンス測定の場合：[アドバンス測定] をクリックします。



2D 測定の場合：[2D 測定] と、「測定結果ファイル」をクリックします。



4 検査成績書

パートプログラム測定の場合：[プログラム測定]、「パートプログラム名」、「測定結果ファイル」をクリックします。

検査成績書

シンプル測定 アドバンス測定

2D測定 **プログラム測定**

パートプログラム名 プログラム選択

測定結果ファイル 結果選択

No	測定日	測定種別	ラベル	測定原点	測定項目	測定値	単位	公差
1					Z	114.6265	mm	-
2	2022/10/12 16:00:00		COORDINATE		X	50.7267	mm	-
3					A	0.0000	deg	-
4	2022/10/12 16:00:00		2D-ANGL3-001		CA	60.0834	deg	-NG

» 各測定の測定結果データが読み込まれる。

Tips

- 一度接続したあとにオフラインモードになった場合は、最後に読み込んだ測定結果データが表示されます。
- 2D 測定のパートプログラムに「仮要素」が登録されていると、測定結果を取得出来ない場合があります。その場合には次のエラーメッセージが出ます。



■ USB メモリーを使用して読み込む

PC に保存した LH-600F/FG の測定結果データを本ソフトウェアで読み込めます。

LH-600F/FG に接続した USB メモリーに測定結果データを出力後、PC にその USB メモリーを接続して、測定結果データをファイルとして保存します。

Tips

LH-600F/FG に接続した USB メモリーに測定結果データを保存する方法の詳細は、別冊の LH-600F/FG ユーザーズマニュアル「PART B 測定編」の「6.2.2 データ出力」を参照してください。

1 本ソフトウェアの [測定結果管理] メニューをクリックする

» [測定結果管理] 画面が表示される。

2 [測定結果管理] 画面の [ファイルから読み込み] をクリックする

» [ファイルから読み込み] 画面が表示される。



Tips

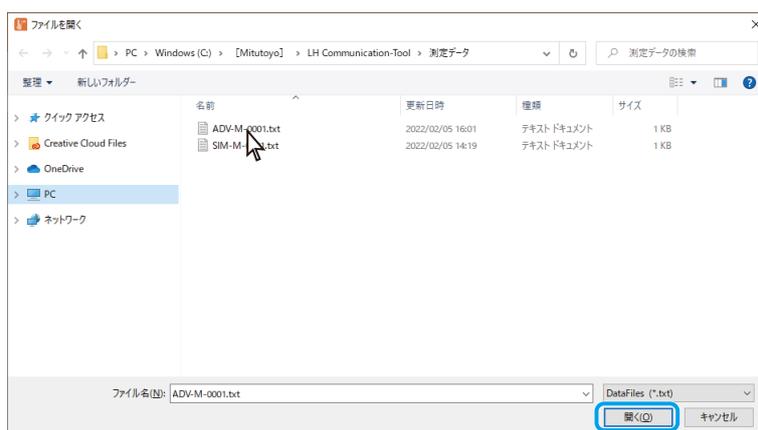
- [ホーム] 画面の [測定リスト管理 ファイルから] をクリックしても、[測定結果管理] 画面の [ファイルから読み込み] 画面が表示されます。
- [測定結果管理] 画面の詳細は、別冊「■ [測定結果管理] 画面」(13 ページ) を参照してください。

3 [ファイルから読み込み] をクリックする



» [ファイルを開く] ウィンドウが表示される。

4 任意の測定結果ファイル（テキストファイル）を選択して、[開く] をクリックする



» 測定結果ファイルが [測定結果管理] 画面に表示される。

The screenshot shows the "測定結果管理" (Measurement Results Management) screen. The "ファイル情報" (File Information) section is highlighted with a red box. It displays the following information:

ファイル名: ADV-M-0001.txt
ファイルの場所: C:\ [Mitutoyo] \LH Communic
リストの種類: シンプル/アドバンス測定

No	測定日	測定種別	ラベル	測定座点	測定項目	測定値	単位	公差判定
33								
34	2022/02/05 17:14:02	↓	HEIGHT-002	ABS	Z	99.6237	mm	GO
					ZP	-39.4484	mm	-NG
35								
36	2022/02/05 18:10:36	⬇	CIRCLE-008	ABS	D	40.0532	mm	GO
37					ZP	-0.4484	mm	-NG

4.2.2 表示項目を選択する

LH-600F/FG や PC に保存したファイルから読み込んだ測定結果データから、検査成績書に表示する項目を選択します。

アドバンス測定の測定結果データを例にして説明します。

1 検査成績書に表示する項目を選択する

1  をクリックする

» [フィルタ設定] 画面が表示される。

2 検査成績書に表示する項目にチェックを入れる（表示しない項目からはチェックを外す）



Tips

[すべて選択] にチェックを入れると、すべての項目にチェックが入ります。

3 [OK] をクリックする

Tips

[キャンセル] をクリックすると、[フィルタ設定] 画面が閉じます。

» 選択した表示項目が [測定結果管理] 画面に表示される。

2 表示項目の詳細を絞り込む

- 1  をクリックする
 - » [フィルタ設定] 画面が表示される。
- 2 各項目をクリックして、検査成績書に表示する内容を選択する

各項目共通の内容

項目	説明
[フィルタの有効化]	ON（有効）にすると、表示されている内容で、測定結果データがフィルタリングされます。 フィルタが有効になっている表示項目（[測定日時]、[リスト番号]、[公差判定結果]、[測定種別]、[測定項目]）は、以下のようにフィルタのマークがオレンジ色になります。 <div style="text-align: center;"></div>
[すべて無効化]	[フィルタ設定] 画面で有効化したフィルタがすべて無効化されます。
[キャンセル]	[フィルタ設定] 画面が閉じます。
[OK]	[フィルタ設定] 画面で設定した内容を測定結果データに反映します。

4 検査成績書

[測定日時] のフィルタ設定画面

フィルタ設定

測定日時 ▼ リスト番号 ▼ 公差判定結果 ▼

測定種別 ▼ 測定項目 ▼

フィルタの有効化

ON

開始

7/1/2022 8:00 AM

終了

7/20/2022 6:00 PM

すべて無効化 キャンセル OK

項目	説明
[開始]	開始日時をドロップダウンリストから選択します。
[終了]	終了日時をドロップダウンリストから選択します。

[リスト番号] のフィルタ設定画面

フィルタ設定

測定日時 ▼ **リスト番号 ▼** 公差判定結果 ▼

測定種別 ▼ 測定項目 ▼

フィルタの有効化

ON

開始

終了

すべて無効化 キャンセル OK

項目	説明
[開始]	測定結果リストの開始番号を入力します。
[終了]	測定結果リストの終了番号を入力します。

[公差判定結果] のフィルタ設定画面



項目	説明
[すべて選択]	[GO]、[+NG]、[-NG] および [判定なし] をすべて選択します。
[GO]	GO (合格) を選択します。
[+NG]	+NG (上限を超えて不合格) を選択します。
[-NG]	-NG (下限を下回って不合格) を選択します。
[判定なし]	公差判定結果がない項目を選択します。

[測定種別] のフィルタ設定画面

測定原点 (ABS 原点、INC 原点) および、高さ、幅、穴などの測定種別を選択します。

測定原点と測定種別の詳細は、別冊の「LH-600F/FG ユーザーズマニュアル」を参照してください。



4 検査成績書

[測定項目] のフィルタ設定画面

Z、D、Wなどの測定項目を選択します。

測定項目の詳細は、別冊の「LH-600F/FG ユーザーズマニュアル」を参照してください。

フィルタ設定

測定日時 〻 リスト番号 〻 公差判定結果 〻

測定種別 〻 測定項目 〻

フィルタの有効化

ON

測定項目

すべて選択

Z dZ D

W ZL ZS

ZD A ZA

XA VT F

N X XD

ZD L LC

CA

すべて無効化 キャンセル OK

3 フィルタリングが確定したら、[OK] をクリックする

» フィルタリングした内容が測定結果データに反映される。

検査成績書

No	測定日	測定種別	ラベル	測定原点	測定項目	測定値	単位	公差判定
5	2022/09/22 13:29:17	↓	HEIGHT-001	ABS	Z	104.2918	mm	+NG
6					dZ	104.2918	mm	-
7	2022/09/22 13:29:46	↓	HEIGHT-002	ABS	Z	102.1307	mm	GO
8					dZ	-2.1611	mm	-

Tips

測定結果データの右上にあるフィルタマークは、フィルタの有効/無効を以下のように表します。

フィルタが有効（フィルタが設定されている）：

フィルタが無効（フィルタが設定されていない）：

4.2.3 レイアウトを編集する

表示項目の詳細をフィルタリングした測定結果データを検査成績書に反映して、レイアウトを編集します。

編集できるレイアウト項目は以下のとおりです。

レイアウト項目	説明	参照
[テンプレート]	使用する書式（テンプレートまたはカスタム設定）を選択します。	☞「■ テンプレート」 (41 ページ)
[用紙設定] *1	用紙サイズ、余白、インデント、表の幅などを設定します。	☞「■ 用紙設定」 (43 ページ)
[ヘッダ]	ヘッダに表示する内容を設定します。 自社のロゴなどを PC に取り込み、ヘッダに表示させることもできます。	☞「■ ヘッダ・フッタ」 (45 ページ)
[トップページ]	作成日、作業者、測定ワーク名など、検査成績書のトップページに記載したい内容を設定します。	☞「■ トップページ」 (46 ページ)
[記載項目] *1	[測定結果管理] 画面でフィルタリングした表示項目を変更する場合に使用します。	☞「■ 記載項目」 (47 ページ)
[測定結果選択]	[測定結果管理] 画面でフィルタリングした測定結果データの内、検査成績書に記載する測定結果を選択できます。	☞「■ 測定結果選択」 (48 ページ)

*1：[用紙設定] と [記載項目] は、テンプレート項目で [カスタム設定] を選択したときのみ、編集が有効になります。

1 [検査成績書] をクリックする

No	測定日	測定種別	ラベル	測定原点	測定項目	測定値	単位	公差判定
5	2022/09/22 13:29:17	↓	HEIGHT-001	ABS	Z	104.2918	mm	+NG
6					dZ	104.2918	mm	
7	2022/09/22 13:29:46	↓	HEIGHT-002	ABS	Z	102.1307	mm	GO
8					dZ	-2.1611	mm	

» [検査成績書設定] 画面が表示される。



2 検査成績書のレイアウトを編集する

Tips

各レイアウト項目の詳細は、以下を参照してください。

- ☰ 「■ テンプレート」 (41 ページ)
- ☰ 「■ 用紙設定」 (43 ページ)
- ☰ 「■ ヘッダ・フッタ」 (45 ページ)
- ☰ 「■ トップページ」 (46 ページ)
- ☰ 「■ 記載項目」 (47 ページ)
- ☰ 「■ 測定結果選択」 (48 ページ)

3 プレビュー画面で確認する

The screenshot shows the Mitutoyo software interface. The main window displays a preview of a test report titled '検査成績書' (Inspection Report). The report includes the following information:

- 検査成績書No: 000102206
- 作成日: 2022/09/22 21:21:37
- 機種名: HESDm
- 測定機: LH-600FG
- 測定値1: 0.500
- 測定値2: 0.500

The report also contains a table of measurement results:

No.	測定日	測定時刻	測定機	測定値	公差	単位	判定
5	2022/09/22	17:29:12	HESDm	104.2918	±0.01	mm	OK
6	2022/09/22	17:29:12	HESDm	104.2918	±0.01	mm	OK
7	2022/09/22	17:29:46	HESDm	102.1307	±0.01	mm	OK
8	2022/09/22	17:29:46	HESDm	-2.1611	±0.01	mm	NG

The preview window is highlighted with a blue border and labeled 'プレビュー画面' (Preview Screen).

プレビュー画面

■ テンプレート

検査成績書の書式を選択します。

設定 1

The screenshot shows the '検査成績書設定' (Inspection Report Settings) window. Under the 'テンプレート' (Template) section, '設定1' is selected with a radio button. The description for '設定1' is '用紙:縦向き,記載項目:8 (公差判定:なし)'. The preview window on the right shows a report with 8 items, all marked as 'NG'.

No.	測定日	測定時刻	ラベル	測定原点	測定項目	測定値	単位
5	2022/09/22	13:29:17	HEIGHT-001	ABS	Z	104.2918	mm
6	2022/09/22	13:29:17			dZ	104.2918	mm
7	2022/09/22	13:29:46	HEIGHT-002	ABS	Z	102.1307	mm
8	2022/09/22	13:29:46			dZ	-2.1611	mm

設定 2

The screenshot shows the '検査成績書設定' window with '設定2' selected. The description is '用紙:縦向き,記載項目:10 (公差判定:あり)'. The preview window shows 8 items, with item 5 marked as '+NG' and item 7 as 'GO'.

No.	測定日	測定時刻	ラベル	測定原点	測定項目	測定値	単位	公差判定	損傷
5	2022/09/22	13:29:17	HEIGHT-001	ABS	Z	104.2918	mm	+NG	2.2918
6	2022/09/22	13:29:17			dZ	104.2918	mm	-	-
7	2022/09/22	13:29:46	HEIGHT-002	ABS	Z	102.1307	mm	GO	0.1307
8	2022/09/22	13:29:46			dZ	-2.1611	mm	-	-

設定 3

The screenshot shows the '検査成績書設定' window with '設定3' selected. The description is '用紙:横向き,記載項目:すべて (公差判定:あり)'. The preview window shows 8 items with detailed tolerance and damage data.

No.	測定日	測定時刻	ラベル	測定原点	測定項目	測定値	単位	公差判定	設計値	上標公差	損傷	上標許容値
5	2022/09/22	13:29:17	HEIGHT-001	ABS	Z	104.2918	mm	+NG	102.0000	0.5000	2.2918	102.5000
6	2022/09/22	13:29:17			dZ	104.2918	mm	-	-	-	-	-
7	2022/09/22	13:29:46	HEIGHT-002	ABS	Z	102.1307	mm	GO	102.0000	0.5000	0.1307	102.5000
8	2022/09/22	13:29:46			dZ	-2.1611	mm	-	-	-	-	-

4 検査成績書

No.	項目	説明																
①	[設定 1] ~ [設定 3]	<p>テンプレートを使用します。各テンプレートの内容は以下です。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>テンプレート</th> <th>印刷方向</th> <th>記載項目</th> <th>公差判定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>[設定 1]</td> <td>縦向き</td> <td>8</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>[設定 2]</td> <td>縦向き</td> <td>10</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>[設定 3]</td> <td>横向き</td> <td>すべて</td> <td>あり</td> </tr> </tbody> </table> <p>Tips 設定 1 ~ 設定 3 を選択した場合は、[用紙設定] と [記載項目] が自動で設定されます。</p>	テンプレート	印刷方向	記載項目	公差判定	[設定 1]	縦向き	8	なし	[設定 2]	縦向き	10	あり	[設定 3]	横向き	すべて	あり
テンプレート	印刷方向	記載項目	公差判定															
[設定 1]	縦向き	8	なし															
[設定 2]	縦向き	10	あり															
[設定 3]	横向き	すべて	あり															
②	[カスタム設定]	<p>用紙設定の設定を使用します。 用紙設定の詳細は、 「 用紙設定」(43 ページ) を参照してください。</p>																

■ 用紙設定

検査成績書のページレイアウトを設定します。

Tips

用紙設定は、[テンプレート] で [カスタム設定] を設定している場合のみ設定できます。

詳細は、 「■ テンプレート」(41 ページ) を参照してください。

用紙設定 A

① 印刷方向 用紙サイズ ②

縦向き ISOA4

③ 上余白(mm) 下余白(mm) ④

2.0000 5.0000

⑤ 左余白(mm)

5.0000

⑥ 表題位置(mm)

0.0000

⑦ 行高さ(mm) 行高さ(備考欄)(mm) ⑧

10.0000 30.0000

⑨ 幅(項目欄)(mm) 幅(記入欄)(mm) ⑩

38.0000 55.0000

⑪

連続番号(mm) リスト番号(mm)

10.0000 10.0000

測定日(mm) 測定種別(mm)

30.0000 13.0000

ラベル(mm) 測定原点(mm)

30.0000 13.0000

測定項目(mm) 測定値(mm)

13.0000 30.0000

単位(mm) 公差判定結果(mm)

13.0000 13.0000

設計値(mm) 公差(mm)

30.0000 30.0000

誤差(mm) 許容値(mm)

30.0000 30.0000

⑫ リセット

Mitutoyo Page 1 / 1

検査成績書

⑤

⑦

⑧

NG
GO:1 NG:1

No.	No.	測定日	測定種別	ラベル	測定項目	測定値	単位	公差判定	設計値	上公差	下公差	許容	上標許容値	下標許容値
1	5	2022/09/22 13:29:17	↓	HEIGHT-001	ABS	Z	104.2918	mm	+NG	102.0000	0.5000	2.2918	102.5000	101.5000
2	6	2022/09/22 13:29:17	↓	HEIGHT-001	ABS	dZ	104.2918	mm	-	-	-	-	-	-
3	7	2022/09/22 13:29:46	↓	HEIGHT-002	ABS	Z	102.1307	mm	GO	102.0000	0.5000	0.1307	102.5000	101.5000
4	8	2022/09/22 13:29:46	↓	HEIGHT-002	ABS	dZ	-2.1611	mm	-	-	-	-	-	-

Copyright (C)2022 Mitutoyo Corporation

No.	項目	説明	選択方法
①	[印刷方向]	印刷方向（[縦向き] / [横向き]）を設定します。	ドロップダウンリスト
②	[用紙サイズ]	用紙サイズ（[Unknown]、[ISOA3]、[ISOA4]、[NorthAmerica11 × 17]、[NorthAmerica9 × 11]）を設定します。	ドロップダウンリスト

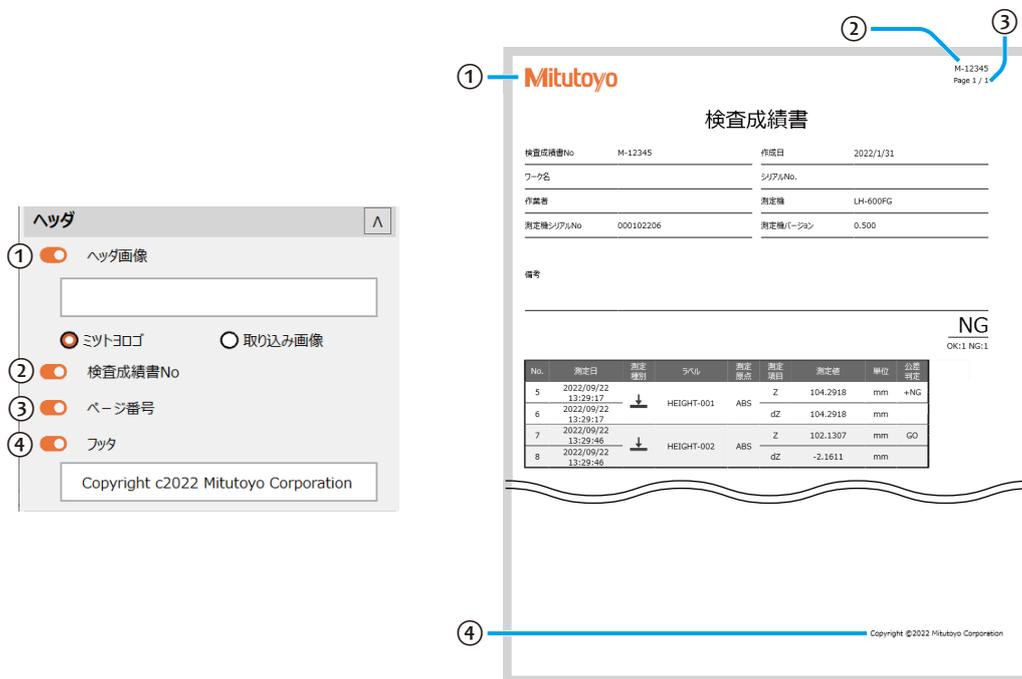
4 検査成績書

No.	項目	説明	選択方法	
③	[上余白]	ページの上端からヘッダまでの余白を設定します。	入力欄にカーソルを置いて直接入力／ 入力欄の右端の増減ボタンをクリックして入力値を設定	
④	[下余白]	ページの下端からフッタまでの余白を設定します。		
⑤	[左余白]	ページの左端から項目欄／表までの余白を設定します。		
⑥	[表題位置]	表題（前ページの図では「検査成績書」）の左インデントを設定します。		
⑦	[行高さ]	[備考] 欄以外の行高さを設定します。		
⑧	[行高さ（備考欄）]	[備考] 欄の行高さを設定します。		
⑨	[幅（項目欄）]	項目欄の幅を設定します。		
⑩	[幅（記入欄）]	記入欄の幅を設定します。		
⑪	幅（測定結果リスト）	測定結果リストの各項目欄の幅を設定します。		
⑫	[リセット]	設定値を初期値に戻します。		—

■ ヘッダ・フッタ

ヘッダ・フッタの各項目の表示／非表示を設定します。

各項目の左側にあるボタンをクリックするたびに、表示 () / 非表示 () が切り替わります。



No.	項目	説明
①	[ヘッダ画像]	<p>「Mitutoyo」ロゴ、または任意で取り込んだ画像*の表示／非表示を設定します。</p> <p>表示 () に設定した場合は、オプションボタンをクリックして、表示させたい画像を選択してください。</p> <p>* 任意の画像の取り込み方： [ヘッダ画像] の下にある入力欄をダブルクリックすると、[ファイルを開く] 画面が表示されます。 任意の画像 (.png / .jpg / .bmp) を選択して、[開く] をクリックすると、本ソフトウェアに画像が取り込まれます。</p> <p>Tips 取り込みできる画像のサイズは、お客様が使用する PC のディスプレイ解像度によって異なります。 お客様ご自身で、画像サイズの調整と、プレビューを複数回実行して、画像の取り込みをお願いいたします。</p>
②	[検査成績書 No.]	<p>☑️「■ トップページ」(46 ページ) で入力した番号の表示／非表示を設定します。</p>
③	[ページ番号]	<p>ページ番号の表示／非表示を設定します。</p>
④	[フッタ]	<p>表示 () に設定すると、任意のフッタを入力できます。</p> <p>入力欄をクリックして、任意のテキストを入力してください。</p> <p>初期値は、弊社の著作権表示のテキストが入力されています。</p>

■ トップページ

トップページに記載する項目テキスト、および表示／非表示を設定します。

各項目の左側にあるボタンをクリックするたびに、表示 () / 非表示 () が切り替わります。

トップページ ▲

① 検査成績書No

② 作成日

自動取得 手動入力

③ ワーク名

④ シリアルNo.

⑤ 作業者

⑥ 測定機

⑦ 測定機シリアルNo

⑧ 測定機バージョン

⑨ 備考

Mitutoyo M-12345
Page 1 / 1

検査成績書

① 検査成績書No M-12345 ② 作成日 2022/1/31

③ ワーク名 sample-A ④ シリアルNo.

⑤ 作業者 三豊太郎 ⑥ 測定機 LH-600FG

⑦ 測定機シリアルNo 000102206 ⑧ 測定機バージョン 0.500

⑨ 備考

NG
OK:1 NG:1

No.	測定日	測定時刻	レベル	測定項目	測定値	測定単位	公差
5	2022/09/22	13:29:17	↓	HEIGHT-001	ABS	Z	104.2918 mm +NG
6	2022/09/22	13:29:17				dZ	104.2918 mm
7	2022/09/22	13:29:46				Z	102.1307 mm GO
8	2022/09/22	13:29:46	↓	HEIGHT-002	ABS	dZ	-2.1651 mm

No.	項目	説明
①	[検査成績書 No.]	任意の番号、文字を入力欄に入力します。
②	[作成日]	PCの日付を自動取得する場合は、[自動取得]のオプションボタンを選択してください。 任意の日付を入力する場合は、[手動入力]のオプションボタンを選択したあと、入力欄に日付を入力してください。
③	[ワーク名]	測定対象の測定ワークの名前を入力します。
④	[シリアル No.]	測定ワークのシリアル No. を入力します。
⑤	[作業者]	測定者の名前を入力します。
⑥	[測定機] *1	測定機の機種名 (LH-600F または LH-600FG) を入力します。
⑦	[測定機シリアル No.] *1	測定機のシリアル No. を入力します。
⑧	[測定機バージョン] *1	測定機のソフトウェアのバージョンを入力します。
⑨	[備考]	上記のほか、必要な情報があれば、[備考]欄に入力してください。

*1：オンラインで機器と接続した場合は、機器の情報（[測定機]、[測定機シリアル No.]、[測定機バージョン]）が自動的に入力されます。

■ 記載項目

測定結果リストの表示項目を「検査成績書」画面で変更するとき 사용합니다。
 初期設定では「測定結果管理」画面で設定した表示項目が検査成績書に表示されます。
 変更する場合の手順は以下のとおりです。

1 [アプリの設定と同じ] をクリックして無効 () にする

» 表示項目が表示される。



2 検査成績書に表示したい表示項目を選択する

ここでは例として、「すべて選択」にチェックを入れて、すべての項目を選択します。

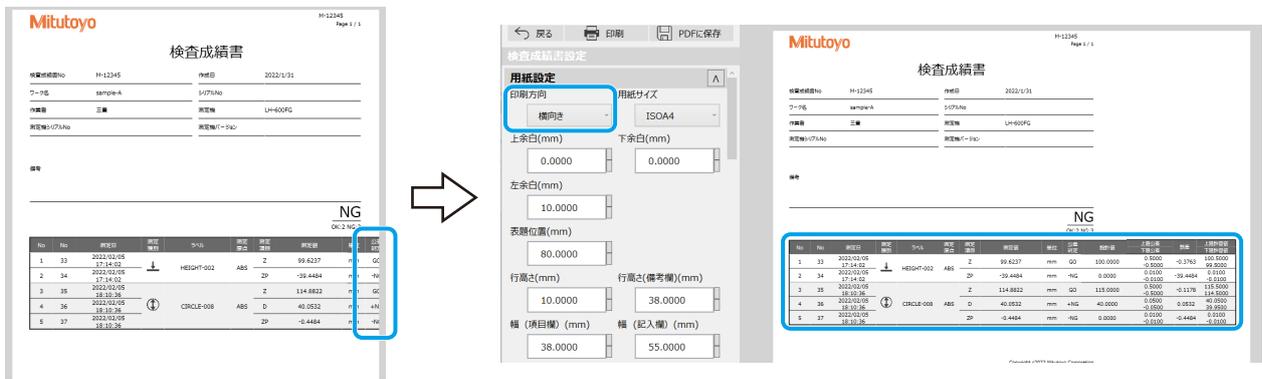


Tips

[すべて選択] にチェックを入れて、すべての項目を選択した場合、「用紙設定」項目の「印刷方向」が「縦向き」、
 「用紙サイズ」が「ISOA4」のとき、表示項目の一部が検査成績書に入らないことがあります。

この場合は、「印刷方向」を「横向き」にして、各表示項目の幅を調整してください。

詳細は、「用紙設定」(43 ページ) を参照してください。



■ 測定結果選択

測定結果リストを「検査成績書」画面で変更するときを使用します。

初期設定では「測定結果管理」画面で設定した測定結果リストが検査成績書に表示されます。

変更する場合の手順は以下のとおりです。

1 「選択」 をクリックする



» 測定結果を選択する画面が表示される。

2 検査成績書に表示したい測定結果を選択して、「OK」 をクリックする

ここでは例として、「HEIGHT-002」のチェックを外して、「HEIGHT-001」だけを選択します。



» 検査成績書プレビュー画面に変更が反映される。



4.3 印刷／保存

作成した検査成績書を印刷、または PDF ファイルで保存します。

「4.2 作成」(29 ページ) でレイアウト編集した検査成績書を例にして説明します。



No.	項目	説明
①	[PDF に保存]	検査成績書を PDF ファイルに変換して、PC に保存します。
②	[印刷]	検査成績書を PC に接続されたプリンターや、PC の仮想プリンターで印刷します。④ の印刷媒体選択ボタンで印刷媒体を選択後、[印刷] をクリックしてください。
③	[戻る]	[測定結果管理] 画面に戻ります。
④	印刷媒体選択ボタン	印刷媒体を選択できます。 印刷媒体を選択後、② の [印刷] をクリックすると、選択した印刷媒体から、検査成績書が印刷されます。 Tips 印刷媒体として、プリンター、OneNote、Microsoft XPS Document Writer、Adobe PDF などを選択できます。

■ 印刷

1 印刷媒体を選択する

2 [印刷] をクリックする

» 選択した印刷媒体から検査成績書が印刷される。

■ PDF ファイルでの保存

1 [PDF に保存] をクリックする

» [ファイルの保存] ウィンドウが表示される。

2 ファイル名を入力して、検査成績書を任意の場所に保存する

» PDF ファイルに変換された検査成績書が保存される。

■ レイアウト例

Mitutoyo 00001234 Page 1 / 2

検査成績書

検査成績書No	00001234	作成日	2022/10/06
ワーク名	Sample 01	シリアルNo.	0001
作業者	Mitutoyo Taro	測定機	LH-600FG
測定機シリアルNo	000102206	測定機バージョン	0.502

備考

OK

GO:31 NG:0

No.	測定日 測定時刻	測定 種別	ラベル	測定 原点	測定 項目	測定値	単位	公差 判定	誤差
1	2022/10/06 13:55:00	↓	HEIGHT-001	ABS	Z	85.1384	mm	GO	0.0065
2	2022/10/06 13:55:00				dZ	85.1384	mm	GO	0.0065
3	2022/10/06 13:55:00	↑	HEIGHT-002	ABS	Z	115.2025	mm	GO	0.0059
4	2022/10/06 13:55:00				dZ	30.0641	mm	GO	-0.0006
5	2022/10/06 13:55:00	↕	WIDTH-001	ABS	Z	100.1708	mm	GO	0.0063
6	2022/10/06 13:55:00				dZ	-15.0318	mm	GO	0.0004
7	2022/10/06 13:55:00	+	WIDTH-002	ABS	Z	125.1972	mm	GO	0.0055
8	2022/10/06 13:55:00				dZ	25.0265	mm	GO	-0.0008
9	2022/10/06 13:55:00	↑	TOP-001	ABS	Z	140.0886	mm	GO	0.0021
10	2022/10/06 13:55:00				dZ	14.8914	mm	GO	-0.0034
11	2022/10/06 13:55:00	↓	BOTTOM-001	ABS	Z	120.2336	mm	GO	-0.0063
12	2022/10/06 13:55:00				dZ	-19.8550	mm	GO	-0.0084
13	2022/10/06 13:55:00	○	CIRCLE-001	ABS	Z	130.1605	mm	GO	-0.0018
14	2022/10/06 13:55:00				dZ	19.8539	mm	GO	0.0090
15	2022/10/06 13:55:00	○	CIRCLE-001	ABS	Z	9.9269	mm	GO	0.0045
16	2022/10/06 13:55:00				dZ	9.9269	mm	GO	0.0045

Copyright (C)2022 Mitutoyo Corporation

Mitutoyo 00001234 Page 1 / 1

検査成績書

検査成績書No	00001234	作成日	2022/10/06
ワーク名	Sample 01	シリアルNo.	0001
作業者	Mitutoyo Taro	測定機	LH-600FG
測定機シリアルNo	000102206	測定機バージョン	0.502

備考

NG

GO:1 NG:2

No.	測定日 測定時刻	測定 種別	ラベル	測定 原点	測定 項目	測定値	単位	公差 判定	誤差
1	2022/10/06 14:02:00	⊥	PERPEND-001	-	VT	0.4200	mm	+NG	-
2	2022/10/06 14:02:00				A	89.6444	deg	GO	-0.5045
3	2022/10/06 14:02:00				F	0.3571	mm	+NG	-

VT

F

Copyright (C)2022 Mitutoyo Corporation

5 パラメータの編集、反映、保存

設定の編集、PC への保存、LH-600F/FG への反映ができます。これらの方法について説明します。

5.1 システム設定	52
5.2 公差設定	58

5.1 システム設定

システム設定データを読み込んで、設定内容を編集できます。また、編集した内容を LH-600F/FG に反映したり、PC に保存したりすることができます。

なお、LH-600F/FG のシステム設定データは、以下の 2 つの方法で読み込みます。

- LH-600F/FG に接続した USB ケーブルを使用して直接読み込む
- 本ソフトウェア上で編集して PC に保存したファイルを読み込む

■ LH-600F/FG から読み込んで編集する

LH-600F/FG からシステム設定データを読み込む場合は、PC と LH-600F/FG を USB ケーブル（A タイプ - B タイプ）で接続します。

重要

本ソフトウェアがインストールされた PC と LH-600F/FG を USB ケーブルで接続しているとき、LH-600F/FG の表示制御部からの操作はできません。

表示制御部から LH-600F/FG を操作する場合は、本書に記載されている手順で本ソフトウェアを終了するか、USB ケーブルを取り外してください。

本ソフトウェアの終了方法の詳細は、[目次](#)「3.3 終了」（25 ページ）を参照してください。

1 PC と LH-600F/FG を USB ケーブル（A - B タイプ）で接続し、本ソフトウェアを起動する

[目次](#)「3.2 接続と起動」（21 ページ）を参照してください。

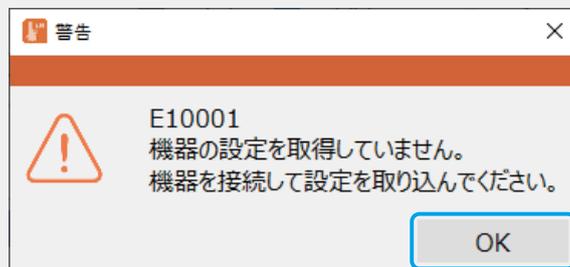
2 [本体設定] メニューをクリックする

- » [本体設定] 画面が表示される。
- » システム設定データと公差設定データが自動で読み込まれて、[本体設定] 画面に表示される。

重要

LH-600F/FG と一度も接続せず、システム設定データが読み込まれていない状態で、[本体設定] メニューをクリックした場合、以下のエラーメッセージが表示されます。

エラーメッセージが表示された場合は、[OK] をクリックして、手順 [1](#) から操作してください。



Tips

- [ホーム] 画面の [本体設定] をクリックしても、[本体設定] 画面が表示されます。
- [本体設定] 画面の詳細は、[目次](#)「[■](#) [本体設定] 画面」（12 ページ）を参照してください。

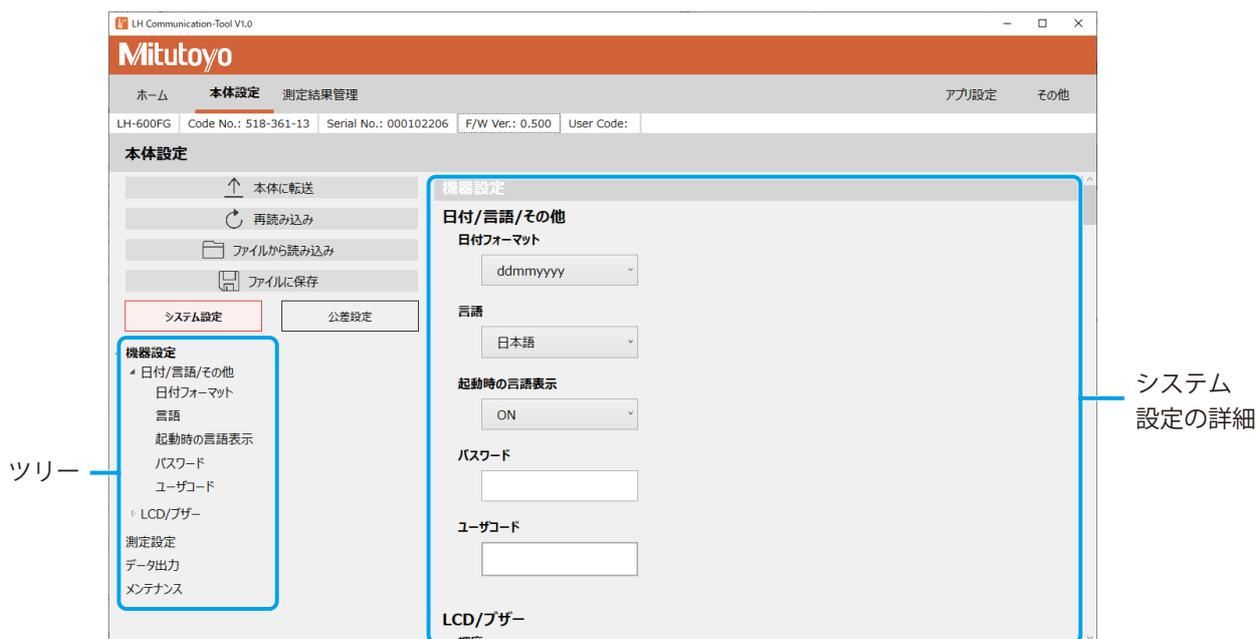
3 [システム設定] をクリックする



» 画面の右側にシステム設定データの詳細が表示される。

Tips

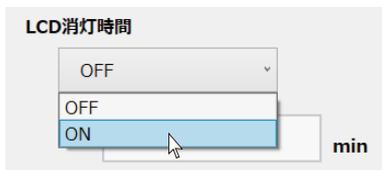
- 一度接続したあとにオフラインモードになった場合は、最後に読み込んだシステム設定データが表示されます。
- [システム設定] をクリックすると、ボタンがオレンジ色（選択状態）になります。
- システム設定とは、[機器設定]、[測定設定]、[データ出力]、および [メンテナンス] の設定内容のことです。画面の左側に表示されるツリーから、設定項目の選択もできます。



4 設定内容を変更する

設定内容は以下の方法で変更します。

ドロップダウンリストから選択する。

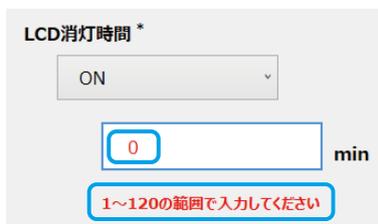


入力欄に数字またはテキストを入力する。



Tips

- 設定内容の詳細は、別冊の LH-600F/FG ユーザーズマニュアル「PART C システム設定編」の「1.4.2 [機器設定] 画面」を参照してください。
- 設定できない数字またはテキストを入力した場合は、次の図のように入力した数字またはテキストが赤色になり、エラーメッセージが表示されます。表示された範囲内の数字またはテキストを再度入力してください。



» 設定内容が変更される。

Tips

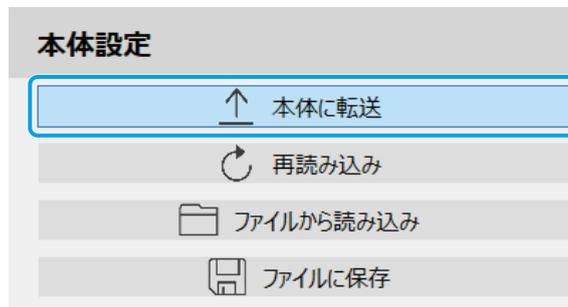
変更された設定項目には、次の図のようにアスタリスク (*) が付きます。



5 変更した内容を LH-600F/FG に書き込む／PC に保存する

LH-600F/FG に書き込む場合

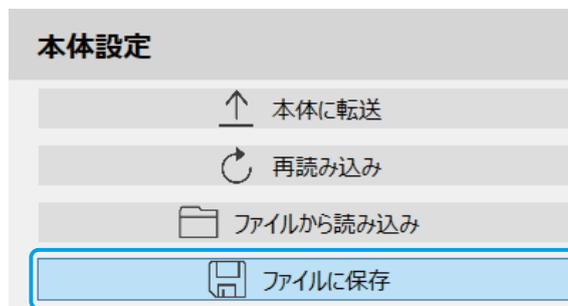
- 1 「本体に転送」をクリックする



» 変更した設定内容が本体に書き込まれる。

PC に保存する場合

- 1 「ファイルに保存」をクリックする



» 「ファイルの保存」ウインドウが表示される。

- 2 ファイル名を入力して、システム設定データを任意の場所に保存する

» システム設定データが保存される。(拡張子 .lhc)

Tips

PC には、「システム設定データ」と「公差設定データ」を含んだ「本体設定データ」が保存されます。

■ ファイルから読み込んで編集する

LH-600F/FG のシステム設定データは、本ソフトウェア経由で PC に保存できます。
保存したシステム設定データは、以下の方法で本ソフトウェアに読み込めます。

Tips

システム設定データを PC に保存する方法の詳細は、目録「5.1 システム設定」の「■ LH-600F/FG から読み込んで編集する」(52 ページ) を参照してください。

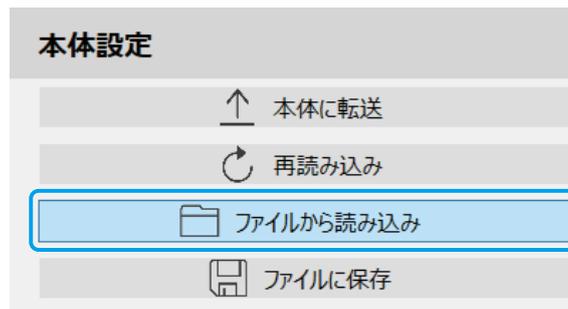
1 本ソフトウェアの [本体設定] メニューをクリックする

» [本体設定] 画面が表示される。

Tips

- [ホーム] 画面の [本体設定] をクリックしても、[本体設定] 画面が表示されます。
- [本体設定] 画面の詳細は、目録「■ [本体設定] 画面」(12 ページ) を参照してください。

2 [本体設定] 画面の [ファイルから読み込み] をクリックする



» [ファイルを開く] ウィンドウが表示される。

3 任意のシステム設定データを選択して、[開く] をクリックする

» システム設定データが [本体設定] 画面に表示される。

4 [システム設定] をクリックする



» 画面の右側にシステム設定データの詳細が表示される。

Tips

- [システム設定] をクリックすると、ボタンがオレンジ色（選択状態）になります。
- システム設定とは、[機器設定]、[測定設定]、[データ出力]、および [メンテナンス] の設定内容のことです。画面の左側に表示されるツリーから、設定項目を選択することもできます。

設定内容を変更する手順以降は、 「5.1 システム設定」の「 LH-600F/FG から読み込んで編集する」(52 ページ) を参照してください。

5.2 公差設定

公差設定データを読み込んで、設定内容を編集できます。また、編集した内容を LH-600F/FG に反映したり、PC に保存したりすることができます。

なお、LH-600F/FG の公差設定データは、以下の 2 つの方法で読み込めます。

- LH-600F/FG に接続した USB ケーブルを使用して直接読み込む
- 本ソフトウェア上で編集して PC に保存したファイルを読み込む

■ LH-600F/FG から読み込んで編集する

LH-600F/FG から公差設定データを読み込む場合は、PC と LH-600F/FG を USB ケーブル（A タイプ - B タイプ）で接続します。

重要

本ソフトウェアがインストールされた PC と LH-600F/FG を USB ケーブルで接続しているとき、LH-600F/FG の表示制御部からの操作はできません。

表示制御部から LH-600F/FG を操作する場合は、本書に記載されている手順で本ソフトウェアを終了するか、USB ケーブルを取り外してください。

本ソフトウェアの終了方法の詳細は、[目次](#)「3.3 終了」（25 ページ）を参照してください。

1 PC と LH-600F/FG を USB ケーブル（A - B タイプ）で接続し、本ソフトウェアを起動する

[目次](#)「3.2 接続と起動」（21 ページ）を参照してください。

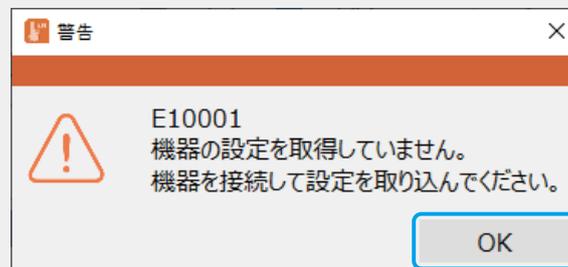
2 [本体設定] メニューをクリックする

- » [本体設定] 画面が表示される。
- » システム設定データと公差設定データが自動で読み込まれて、[本体設定] 画面に表示される。

重要

LH-600F/FG と一度も接続せず、公差設定データが読み込まれていない状態で、[本体設定] メニューをクリックした場合、以下のエラーメッセージが表示されます。

エラーメッセージが表示された場合は、[OK] をクリックして、手順 **1** から操作してください。



Tips

- [ホーム] 画面の [本体設定] をクリックしても、[本体設定] 画面が表示されます。
- [本体設定] 画面の詳細は、[目次](#)「**■** [本体設定] 画面」（12 ページ）を参照してください。

3 [公差設定] をクリックする



» 画面の右側に公差設定データの詳細が表示される。

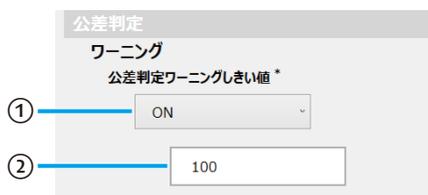
Tips

- 一度接続したあとにオフラインモードになった場合は、最後に読み込んだ公差設定データが表示されます。
- [公差設定] をクリックすると、ボタンがオレンジ色（選択状態）になります。
- 公差設定とは、[ワーニング] と [公差設定] の設定内容のことです。
画面の左側に表示されるツリーから、設定項目を選択することもできます。



4 設定内容を変更する

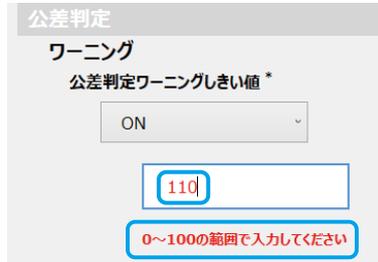
ワーニングの設定内容



No.	説明
①	[ON] を選択すると、ワーニング機能が有効になります。
②	入力欄に任意のしきい値を入力します。

Tips

- ワーニング機能とその設定方法の詳細は、別冊の LH-600F/FG ユーザーズマニュアル「PART B 測定編」の「3.1.2 公差判定ワーニング」、「3.2.2 公差判定ワーニングの設定」を参照してください。
- 設定できない数字を入力した場合は、次の図のように入力した数字が赤色になり、エラーメッセージが表示されます。表示された範囲内の数字を再度入力してください。



公差設定の設定内容



No.	説明
①	ON / OFF ボタンを ON () にした測定項目の公差設定が有効になります。
②	入力欄に任意の設計値と公差（下限公差と上限公差）を入力します。

Tips

公差判定とその設定方法の詳細は、別冊の LH-600F/FG ユーザーズマニュアル「PART B 測定編」の「3 公差判定 (Advance モードのみ)」、「3.2.1 公差の設定」を参照してください。

» 設定内容が変更される。

Tips

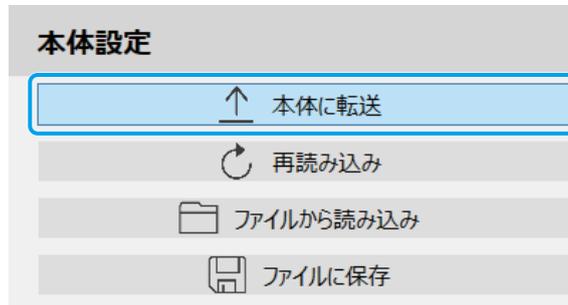
変更された設定項目には、次の図のようにアスタリスク (*) が付きます。。



5 変更した内容を LH-600F/FG に書き込む／PC に保存する

LH-600F/FG に書き込む場合

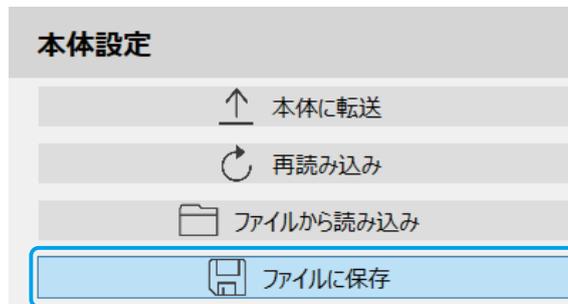
- 1 「本体に転送」をクリックする



» 変更した設定内容が本体に書き込まれる。

PC に保存する場合

- 1 「ファイルに保存」をクリックする



» 「ファイルの保存」ウインドウが表示される。

- 2 ファイル名を入力して、公差設定データを任意の場所に保存する

» 公差設定データが保存される。(拡張子 .lhc)

Tips

PC には、「システム設定データ」と「公差設定データ」を含んだ「本体設定データ」が保存されます。

■ ファイルから読み込んで編集する

LH-600F/FG の公差設定データは、本ソフトウェア経由で PC に保存できます。保存した公差設定データは、以下の方法で本ソフトウェアに読み込めます。

Tips

公差設定データを PC に保存する方法の詳細は、[目録「5.2 公差設定」](#)の「[■ LH-600F/FG から読み込んで編集する](#)」(58 ページ)を参照してください。

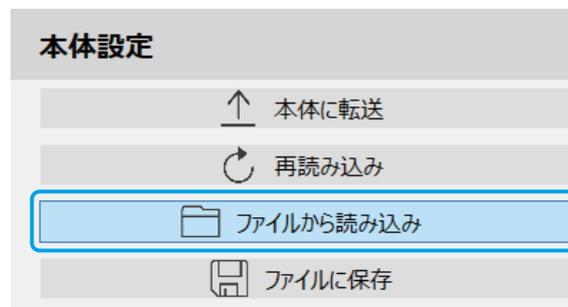
1 本ソフトウェアの [本体設定] メニューをクリックする

» [本体設定] 画面が表示される。

Tips

[ホーム] 画面の [本体設定] をクリックしても、[本体設定] 画面が表示されます。

2 [本体設定] 画面の [ファイルから読み込み] をクリックする

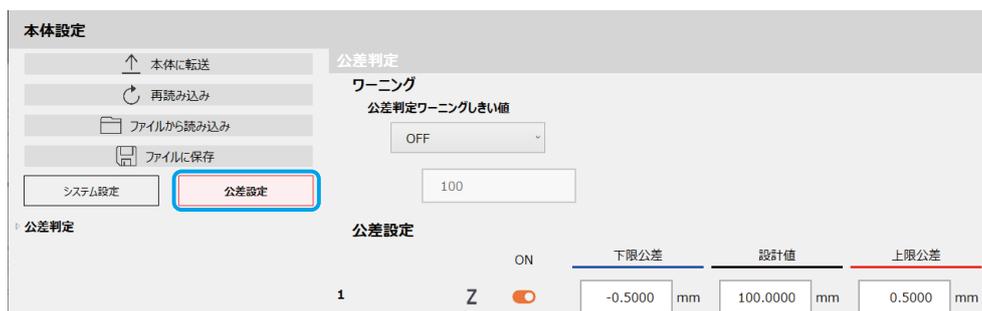


» [ファイルを開く] ウィンドウが表示される。

3 任意の公差設定データを選択して、[開く] をクリックする

» 公差設定データが [本体設定] 画面に表示される。

4 [公差設定] をクリックする



» 画面の右側に公差設定データの詳細が表示される。

Tips

- [公差設定] をクリックすると、ボタンがオレンジ色 (選択状態) になります。
- 公差設定とは、[ワーニング] と [公差設定] の設定内容のことです。画面の左側に表示されるツリーから、設定項目の選択もできます。

設定内容を変更する手順以降は、[目録「5.2 公差設定」](#)の「[■ LH-600F/FG から読み込んで編集する](#)」(58 ページ)を参照してください。

6 トラブルシューティング

動作がおかしいと思ったときは、まずこのトラブルシューティングを読んでチェックしてください。
問題が解決しない場合は、弊社営業・サービスの窓口（☎「営業・サービスの窓口」(App-1 ページ)）
にご連絡ください。

6.1	トラブルシューティング	64
6.2	エラーメッセージ	65

6.1 トラブルシューティング

本ソフトウェアの作動がおかしいと思ったときは、まずこのトラブルシューティングを読んでチェックしてください。

操作中に発生するエラーメッセージへの対応方法は、目録「6.2 エラーメッセージ」(65 ページ)を参照してください。

重要

問題が解決しない場合は、弊社営業・サービスの窓口（目録「営業・サービスの窓口」(App-1 ページ)）にご連絡ください。

■ オンラインで接続できない

確認点	原因と対処
USB ケーブルは接続されていますか。	<ul style="list-style-type: none"> お使いの PC にて、デバイス マネージャーを開き、USB ケーブルが正しく認識されているかを確認してください。 確認方法の詳細は、目録「■ ポート接続を確認する」(24 ページ)を参照してください。
本ソフトウェアを起動する際、LH-600F/FG は、右記以外の画面を開いていませんか。	<ul style="list-style-type: none"> LH-600F/FG で特定の画面が表示されているときに限り、オンライン接続ができません。 ホーム画面または結果画面（結果シングル、結果リスト）を表示した状態で、本ソフトウェアを起動してください。

6.2 エラーメッセージ

エラーメッセージが表示されたときは、まずこのエラーメッセージ表を読んでチェックしてください。

重要

エラーメッセージ表に記載されていないエラーメッセージが表示された場合や、問題が解決しない場合は、弊社営業・サービスの窓口（☎「営業・サービスの窓口」(App-1 ページ)）にご連絡ください。

番号	メッセージ	原因	対処方法
E10000	機器が接続されていません。	<ul style="list-style-type: none"> • USB ケーブルが接続されていない。 • USB ケーブルが断線している。 • 表示制御部の表示画面が違う。 	☞「6.1 トラブルシューティング」の「■ オンラインで接続できない」(64 ページ)を参照してください。
E10001	機器の設定を取得していません。		
E10002	機器の結果リストを取得していません。		
E10003	ファイルの内容に問題があります。ファイルを開くことができません。	PC に保存した LH-600F/FG の設定ファイル (.lhf) が破損している。	PC にファイル（本体設定データ (.lhc)）を新しく保存して、本ソフトウェアで読み込めるかどうかを確認してください。 ファイルの保存方法の詳細は、☞「5.1 システム設定」の「■ LH-600F/FG から読み込んで編集する」(52 ページ)、または ☞「5.2 公差設定」の「■ LH-600F/FG から読み込んで編集する」(58 ページ)を参照してください。
E10004	測定結果を取得できません。	2D 測定のパートプログラムに「仮要素」が登録されている。	2D 測定のパートプログラムから「仮要素」を削除・実行し、その測定結果を読み込んでください。 2D 測定の詳細は、☞別冊の LH-600F/FG ユーザーズマニュアル「4. 2D 測定 (Advance モードのみ)」を参照してください。

索引

い		テンプレート 41	
印刷／保存 49		トップページ 46	
PDF ファイルでの保存 50		表示項目の選択 34	
印刷 50		ヘッダ・フッタ 45	
レイアウト例 50		用紙設定 43	
インストール 20		レイアウトの編集 39	
え		こ	
エラーメッセージ 65		公差設定 58	
お		LH-600F/FG から読み込んで編集 58	
オフラインモード 11		ファイルから読み込んで編集 62	
オンラインモード 11		さ	
か		サードパーティのライセンス 6	
概要 7		し	
画面の説明 9		システム設定 52	
アプリ設定画面 16		LH-600F/FG から読み込んで編集 52	
各画面共通の表示 10		ファイルから読み込んで編集 56	
検査成績書画面 14		終了 25	
測定結果管理画面 13		せ	
その他画面 17		接続 21	
ホーム画面 11		接続機器情報バー 10	
本体設定画面 12		セットアップ 19	
き		そ	
起動 21		ソフトウェア使用許諾契約書 1	
け		使用权 1	
検査成績書 27		その他 2	
USB ケーブルを使用した読み込み 29		複製等の禁止 1	
USB メモリーを使用した読み込み 32		保証範囲 2	
記載項目 47		免責 2	
作成 29		た	
作成、印刷／保存までの流れ 28		対象読者 4	
測定結果選択 48			
測定結果データの読み込み 29			

と

ドキュメントマップ	3
トラブルシューティング	64
取り扱い上のご注意	6

な

ナビゲーションバー	10
-----------------	----

は

パラメータの編集、反映、保存	51
----------------------	----

ほ

ポート接続	24
-------------	----

も

目的	4
----------	---

営業・サービスの窓口

2023年3月現在

仙台営業所	仙台市若林区卸町東 1-7-30 電話：(022) 231-6881	〒 984-0002 ファクス：(022) 231-6884
郡山営業所	仙台市若林区卸町東 1-7-30 (※) 電話：(024) 931-4331	〒 984-0002 ファクス：(022) 231-6884
宇都宮営業所	宇都宮市平松本町 796-1 電話：(028) 660-6240	〒 321-0932 ファクス：(028) 660-6248
水戸営業所	水戸市元吉田町 260-3 電話：(029) 303-5371	〒 310-0836 ファクス：(029) 303-5372
新潟営業所	新潟市中央区新和 1-6-10 リファール新和 1階 B 号室 電話：(025) 281-4360	〒 950-0972 ファクス：(025) 281-4367
伊勢崎営業所	伊勢崎市宮子町 3463-13 電話：(0270) 21-5471	〒 372-0801 ファクス：(0270) 21-5613
さいたま営業所	さいたま市北区宮原町 3-429-1 電話：(048) 667-1431	〒 331-0812 ファクス：(048) 667-1434
川崎営業所	川崎市高津区坂戸 1-20-1 電話：(044) 813-1611	〒 213-8533 ファクス：(044) 813-1610
東京営業所	川崎市高津区坂戸 1-20-1 (※) 電話：(03) 3452-0481	〒 213-8533 ファクス：(044) 813-1610
厚木営業所	厚木市中町 2-6-10 東武太朋ビル 2F 電話：(046) 259-6400	〒 243-0018 ファクス：(046) 259-6404
富士駐在所 諏訪営業所	電話：(0545) 55-1677 諏訪市中洲 582-2 電話：(0266) 53-6414	〒 392-0015 ファクス：(0266) 58-1830
上田駐在所 浜松営業所	電話：(0268) 26-4531 浜松市東区和田町 587-1 電話：(053) 464-1451	〒 435-0016 ファクス：(053) 464-1683
安城営業所	安城市住吉町 5-19-5 電話：(0566) 98-7070	〒 446-0072 ファクス：(0566) 98-6761
中部オートモーティブ営業所	安城市住吉町 5-19-5 電話：(0566) 98-7070	〒 446-0072 ファクス：(0566) 98-6761
名古屋営業所	名古屋市昭和区鶴舞 4-14-26 電話：(052) 741-0382	〒 466-0064 ファクス：(052) 733-0921
金沢営業所	金沢市桜田町 1-26 ドマーニ桜田 電話：(076) 222-1160	〒 920-0057 ファクス：(076) 222-1161
大阪営業所	大阪市住之江区南港北 1-4-34 電話：(06) 6613-8801	〒 559-0034 ファクス：(06) 6613-8817
神戸営業所	神戸市西区丸塚 1-25-15 電話：(078) 924-4560	〒 651-2143 ファクス：(078) 924-4562

※営業所の業務につきましては記載の住所にて行っております。

京滋営業所	草津市大路 2-13-27 辻第 3 ビル 1F	〒 525-0032
	電話：(077) 569-4171	ファクス：(077) 569-4172
岡山営業所	岡山市北区田中 134-107	〒 700-0951
	電話：(086) 242-5625	ファクス：(086) 242-5653
広島営業所	東広島市八本松東 2-15-20	〒 739-0142
	電話：(082) 427-1161	ファクス：(082) 427-1163
福岡営業所	福岡市博多区博多駅南 4-16-37	〒 812-0016
	電話：(092) 411-2911	ファクス：(092) 473-1470
センシング営業課	川崎市高津区坂戸 1-20-1	〒 213-8533
	電話：(044) 813-8236	ファクス：(044) 822-8140
地震機器課	川崎市高津区坂戸 1-20-1	〒 213-8533
	電話：(044) 455-5021	ファクス：(044) 822-8140

◆ 商品の故障および操作方法に関してのご相談・お問い合わせ

カスタマーサポートセンター 電話：(0570) 073214 ファクス：(044) 813-1691

- 受付時間：弊社営業日 8:30 ~ 12:00 13:00 ~ 17:15 (16:45*) * 月末最終営業日
- お願い： 測定機器商品（形状測定機、硬さ試験機、座標計測機器、画像測定機、光学機器ほか）に関するお問い合わせの場合は、該当商品のコード番号、シリアル番号をお手元にご用意ください。

改訂履歴

発行年月日	版数	改訂内容
2022年11月1日	初版	発行

株式会社 ミットヨ

神奈川県川崎市高津区坂戸 1-20-1 〒 213-8533

ホームページ : <https://www.mitutoyo.co.jp>